

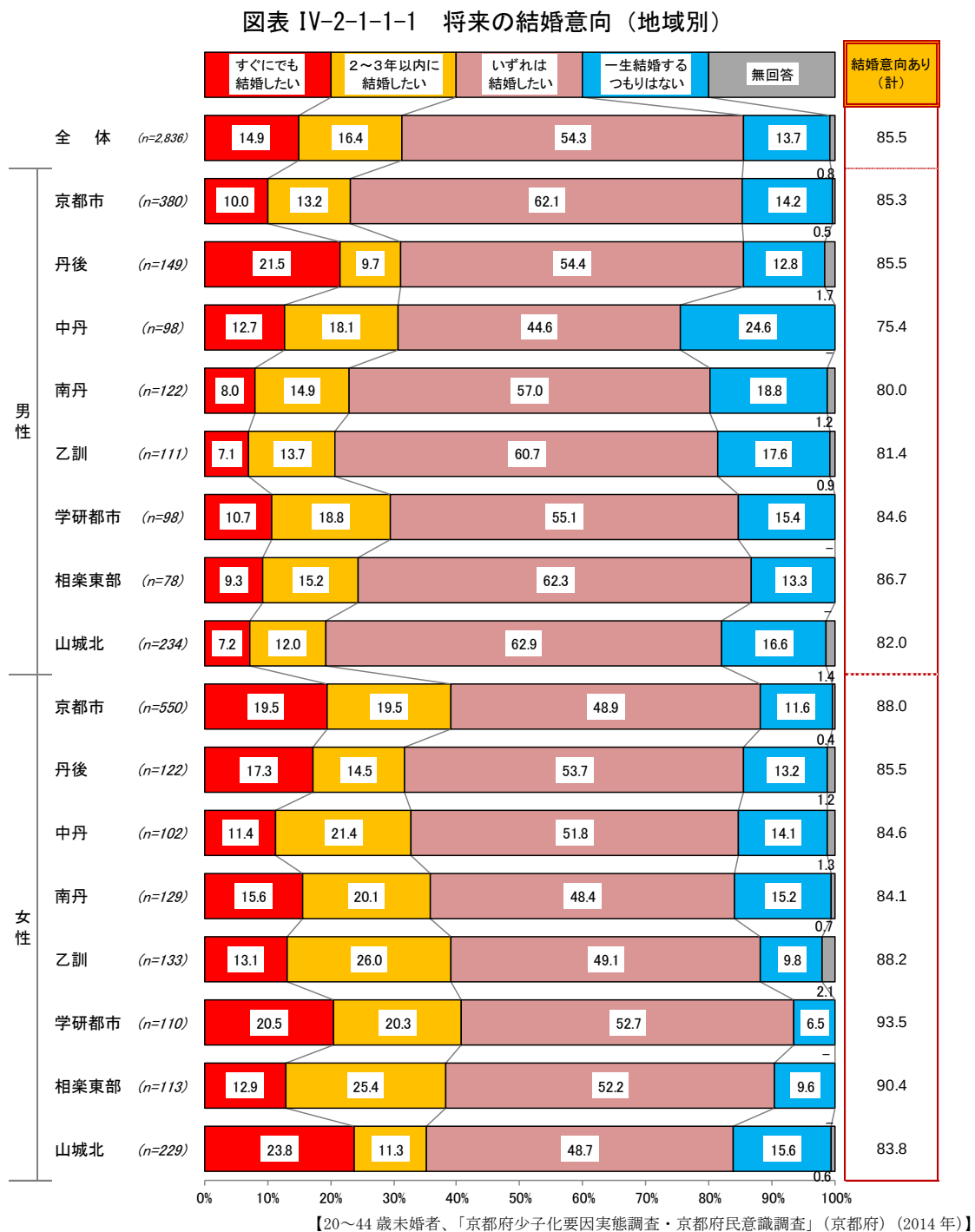
2. 京都府民意識調査からみる地域別・市区町村別結果

(1) 結婚（未婚化・晩婚化）

① 将来の結婚意向

○府内の地域別にみる（図表 IV-2-1-1-1）と、男性の結婚意向は中丹で 75.4%とやや低いが、その他の地域では 8 割を超えている。

○女性は、いずれの地域も 8 割台半ばから 9 割台と高い。



② 結婚を希望する状況

○府内の地域別にみると（図表 IV-2-1-2-1）、「経済的に余裕ができる」は、特に京都市、乙訓、学研都市、山城北の男性で 6 割を超えている。

○また、男性では丹後と中丹で「交際相手と知り合う機会がある」が多い。

○女性は理由が分散しており、際立って多いものはみられない。

図表 IV-2-1-2-1 結婚を希望する状況（地域別）

		n	(%)				
全 体		(2,422)	1 位 経済的に余裕ができる (49.8)	2 位 精神的に余裕ができる (39.9)	3 位 希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (39.8)	4 位 交際相手と知り合う 機会がある (37.2)	5 位 結婚の必要性を感じ る (35.8)
男 性	京都市	(324)	経済的に余裕ができる (62.0)	精神的に余裕ができる (42.2)	雇用が安定する (36.7)	結婚の必要性を感じ る (35.6)	交際相手と知り合う 機会がある (35.3)
	丹後	(128)	交際相手と知り合う 機会がある (52.9)	経済的に余裕ができる (49.0)	結婚の必要性を感じ る (37.7)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (37.7)	精神的に余裕ができ る (34.7)
	中丹	(75)	交際相手と知り合う 機会がある (48.5)	経済的に余裕ができる (45.1)	結婚の必要性を感じ る (43.4)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (34.1)	精神的に余裕ができ る (30.8)
	南丹	(98)	経済的に余裕ができる (42.8)	結婚の必要性を感じ る (35.4)	雇用が安定する (30.9)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (29.9)	交際相手と知り合う 機会がある (29.7)
	乙訓	(89)	経済的に余裕ができ る (63.7)	精神的に余裕ができ る (57.5)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (46.0)	交際相手と知り合う 機会がある (41.4)	雇用が安定する (35.6)
	学研都市	(82)	経済的に余裕ができ る (64.7)	雇用が安定する (39.0)	精神的に余裕ができ る (36.3)	結婚の必要性を感じ る (34.8)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (34.0)
	相楽東部	(68)	経済的に余裕ができ る (44.8)	結婚の必要性を感じ る (38.0)	精神的に余裕ができ る (36.1)	交際相手と知り合う 機会がある (33.5)	雇用が安定する (31.3)
	山城北	(197)	経済的に余裕ができ る (63.1)	精神的に余裕ができ る (40.0)	雇用が安定する (34.3)	結婚の必要性を感じ る (34.0)	相手とうまく付き合え るようになる (33.2)
女 性	京都市	(484)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (45.5)	経済的に余裕ができ る (44.9)	精神的に余裕ができ る (43.2)	交際相手と知り合う 機会がある (40.4)	子どもが欲しくなる (38.5)
	丹後	(104)	精神的に余裕ができ る (40.5)	結婚の必要性を感じ る (37.7)	経済的に余裕ができ る (37.5)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (36.4)	交際相手と知り合う 機会がある (35.9)
	中丹	(85)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (40.9)	交際相手と知り合う 機会がある (37.9)	相手とうまく付き合え るようになる (37.3)	結婚の必要性を感じ る (35.3)	経済的に余裕ができ る (34.6)
	南丹	(111)	子どもが欲しくなる (41.8)	交際相手と知り合う 機会がある (37.0)	精神的に余裕ができ る (36.8)	経済的に余裕ができ る (36.3)	結婚の必要性を感じ る (34.8)
	乙訓	(117)	経済的に余裕ができ る (44.8)	結婚の必要性を感じ る (43.9)	精神的に余裕ができ る (40.4)	子どもが欲しくなる (37.7)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (37.4)
	学研都市	(103)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (51.1)	経済的に余裕ができ る (44.7)	子どもが欲しくなる (40.5)	結婚の必要性を感じ る (40.4)	交際相手と知り合う 機会がある (35.4)
	相楽東部	(102)	経済的に余裕ができ る (46.4)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (43.2)	交際相手と知り合う 機会がある (34.5)	相手とうまく付き合え るようになる (33.8)	子どもが欲しくなる (32.5)
	山城北	(193)	希望の条件を満たす 相手にめぐり会う (40.2)	子どもが欲しくなる (40.2)	交際相手と知り合う 機会がある (38.3)	結婚の必要性を感じ る (37.9)	経済的に余裕ができ る (36.8)

【20～44 歳未婚・結婚意向者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

③ 居住地の自治体に期待する結婚支援事業

- 府内の地域別にみると（図表 IV-2-1-3-1）、丹後と中丹の男性で「出会いの場・婚活イベントの提供」が他の地域よりも多い。丹後と中丹の男性は、結婚のためには「交際相手と知り合う機会がある」が必要という意見が多く、出会い支援が有効と考えられる。
- 「結婚祝い金の支給」は学研都市の男性で、「新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給」は乙訓の女性で特に多くあげられている。

図表 IV-2-1-3-1 居住地の自治体に期待する結婚支援事業（地域別）

		n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		(2,422)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (50.0)	結婚祝い金の支給 (49.3)	出会いの場・婚活イベントの提供 (30.7)	結婚相談窓口の設置 (11.9)	交際術、ファッション、マナー講座 (6.3)
男性	京都市	(324)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (48.0)	結婚祝い金の支給 (45.6)	出会いの場・婚活イベントの提供 (28.4)	結婚相談窓口の設置 (13.2)	交際術、ファッション、マナー講座 (7.4)
	丹後	(128)	出会いの場・婚活イベントの提供 (52.6)	結婚祝い金の支給 (51.4)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (48.2)	結婚相談窓口の設置 (14.5)	交際術、ファッション、マナー講座 (6.5)
	中丹	(75)	結婚祝い金の支給 (49.0)	出会いの場・婚活イベントの提供 (45.6)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (41.6)	結婚相談窓口の設置 (12.9)	結婚観・人生観等についての講座等 (9.8)
	南丹	(98)	結婚祝い金の支給 (40.8)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (36.9)	出会いの場・婚活イベントの提供 (24.9)	結婚観・人生観等についての講座等 (6.5)	結婚相談窓口の設置 (5.5)
	乙訓	(89)	結婚祝い金の支給 (43.8)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (41.6)	出会いの場・婚活イベントの提供 (34.8)	結婚相談窓口の設置 (15.9)	交際術、ファッション、マナー講座 (6.1)
	学研都市	(82)	結婚祝い金の支給 (63.1)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (52.8)	出会いの場・婚活イベントの提供 (34.9)	結婚相談窓口の設置 (13.8)	結婚観・人生観等についての講座等 (7.6)
	相楽東部	(68)	結婚祝い金の支給 (35.6)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (34.0)	出会いの場・婚活イベントの提供 (28.8)	結婚相談窓口の設置 (15.3)	国際結婚を支援するための事業 (5.7)
	山城北	(197)	結婚祝い金の支給 (44.0)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (43.9)	出会いの場・婚活イベントの提供 (26.1)	結婚相談窓口の設置 (14.5)	交際術、ファッション、マナー講座 (5.7)
女性	京都市	(484)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (53.9)	結婚祝い金の支給 (52.8)	出会いの場・婚活イベントの提供 (33.4)	結婚相談窓口の設置 (11.9)	国際結婚を支援するための事業 (7.7)
	丹後	(104)	結婚祝い金の支給 (45.5)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (37.5)	出会いの場・婚活イベントの提供 (30.2)	結婚相談窓口の設置 (7.2)	結婚観・人生観等についての講座等 (3.1)
	中丹	(85)	結婚祝い金の支給 (48.9)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (48.3)	出会いの場・婚活イベントの提供 (27.2)	結婚相談窓口の設置 (10.2)	結婚観・人生観等についての講座等 (7.5)
	南丹	(111)	結婚祝い金の支給 (56.9)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (53.1)	出会いの場・婚活イベントの提供 (29.6)	結婚相談窓口の設置 (7.7)	国際結婚を支援するための事業 (6.9)
	乙訓	(117)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (62.1)	結婚祝い金の支給 (58.4)	出会いの場・婚活イベントの提供 (23.2)	結婚相談窓口の設置 (9.2)	結婚観・人生観等についての講座等 (7.7)
	学研都市	(103)	結婚祝い金の支給 (55.4)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (48.0)	出会いの場・婚活イベントの提供 (18.3)	国際結婚を支援するための事業 (8.4)	結婚相談窓口の設置 (7.7)
	相楽東部	(102)	結婚祝い金の支給 (51.2)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (46.9)	出会いの場・婚活イベントの提供 (23.2)	結婚相談窓口の設置 (7.7)	結婚観・人生観等についての講座等 (6.9)
	山城北	(193)	新婚夫婦対象の住宅提供、補助金支給 (54.0)	結婚祝い金の支給 (44.3)	出会いの場・婚活イベントの提供 (24.5)	結婚相談窓口の設置 (10.4)	国際結婚を支援するための事業 (7.5)

【20～44 歳未婚・結婚意向者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

（２）出産・子育て（晩産化・少産化）

① 今後、子どもを持つ場合の条件

- 府内の地域別にみると（次ページ・図表 IV-2-2-1-1）、男性ではいずれの地域でも「雇用が安定すること」「教育にお金がかからないこと」「保育にあまりお金がかからないこと」という経済的な項目が上位 5 項目にあげられている。「保育にあまりお金がかからないこと」は、丹後地域でやや高い。
- また、男性では「結婚すること」がいずれの地域でも上位 5 項目にあげられており、特に南丹と相楽東部で第 1 位となっている。
- 男性では学研都市で「保育サービスが整うこと」が第 4 位にあげられている。
- 女性では、「健康上の問題がないこと」と「配偶者の家事・育児の協力が得られる」が、いずれの地域でも上位 5 項目にあげられている。
- 「保育にあまりお金がかからないこと」に加えて、「保育サービスが整うこと」が京都市、乙訓、学研都市、相楽東部、山城北の女性で上位 5 項目にあげられている。
- 相楽東部の女性では、「結婚すること」がトップである。

図表 IV-2-2-1-1 今後、子どもを持つ場合の条件（地域別）

(%)

		n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		(7,593)	教育にお金がかからないこと (43.0)	健康上の問題がないこと (39.0)	雇用が安定すること (36.8)	結婚すること (36.4)	保育にあまりお金がかからないこと (35.4)
男 性	京都市	(905)	雇用が安定すること (44.8)	教育にお金がかからないこと (41.9)	結婚すること (38.0)	健康上の問題がないこと (37.8)	保育にあまりお金がかからないこと (34.2)
	丹後	(368)	教育にお金がかからないこと (46.3)	保育にあまりお金がかからないこと (44.7)	結婚すること (41.6)	雇用が安定すること (41.2)	健康上の問題がないこと (31.8)
	中丹	(266)	雇用が安定すること (43.5)	教育にお金がかからないこと (43.1)	結婚すること (39.8)	健康上の問題がないこと (39.6)	保育にあまりお金がかからないこと (37.7)
	南丹	(252)	結婚すること (47.0)	雇用が安定すること (46.6)	教育にお金がかからないこと (42.4)	健康上の問題がないこと (40.5)	保育にあまりお金がかからないこと (32.4)
	乙訓	(259)	雇用が安定すること (46.5)	教育にお金がかからないこと (42.1)	健康上の問題がないこと (40.4)	結婚すること (38.5)	保育にあまりお金がかからないこと (29.9)
	学研都市	(278)	教育にお金がかからないこと (49.6)	雇用が安定すること (44.2)	結婚すること (36.7)	保育サービスが整うこと (33.8)	保育にあまりお金がかからないこと (33.5)
	相楽東部	(156)	結婚すること (51.3)	雇用が安定すること (46.7)	教育にお金がかからないこと (39.5)	健康上の問題がないこと (36.8)	保育にあまりお金がかからないこと (28.4)
	山城北	(477)	雇用が安定すること (47.3)	教育にお金がかからないこと (47.0)	結婚すること (41.5)	健康上の問題がないこと (34.7)	保育にあまりお金がかからないこと (33.8)
女 性	京都市	(1,478)	教育にお金がかからないこと (42.5)	健康上の問題がないこと (40.7)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (37.7)	保育サービスが整うこと (36.9)	結婚すること (36.6)
	丹後	(458)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (43.3)	教育にお金がかからないこと (42.3)	職場に働きながら子育てできる制度がある (41.8)	保育にあまりお金がかからないこと (41.1)	健康上の問題がないこと (36.5)
	中丹	(374)	教育にお金がかからないこと (45.2)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (42.9)	保育にあまりお金がかからないこと (39.7)	職場に働きながら子育てできる制度がある (37.6)	健康上の問題がないこと (36.6)
	南丹	(374)	教育にお金がかからないこと (46.6)	保育にあまりお金がかからないこと (44.9)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (39.7)	職場に働きながら子育てできる制度がある (39.3)	健康上の問題がないこと (39.2)
	乙訓	(429)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (41.2)	健康上の問題がないこと (40.7)	保育サービスが整うこと (40.0)	教育にお金がかからないこと (36.6)	結婚すること (34.9)
	学研都市	(447)	教育にお金がかからないこと (49.6)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (43.1)	健康上の問題がないこと (41.4)	保育サービスが整うこと (41.0)	保育にあまりお金がかからないこと (39.2)
	相楽東部	(230)	結婚すること (47.0)	健康上の問題がないこと (39.7)	保育サービスが整うこと (38.9)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (38.3)	保育にあまりお金がかからないこと (34.2)
	山城北	(689)	教育にお金がかからないこと (45.3)	健康上の問題がないこと (43.6)	配偶者の家事・育児の協力が得られる (38.5)	保育サービスが整うこと (35.1)	結婚すること (34.7)

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○京都市内について区別にみると（図表 IV-2-2-1-2）、男性では北区、下京区、南区、伏見区、山科区で「雇用が安定すること」、左京区では「雇用の安定」と並んで「教育にお金がかかりかからないこと」「結婚すること」、中京区では「雇用の安定」「教育費」「健康上の問題がないこと」が並び、東山区（回答者数が少ないため参考値）、右京区、西京区では「教育にお金がかかりかからないこと」、上京区では「結婚すること」が、それぞれ多くあげられている。

○女性では、北区、左京区、伏見区、山科区、西京区で「教育にお金がかかりかからないこと」、中京区、下京区では「健康上の問題がないこと」、上京区では「結婚すること」、右京区では「教育費」に並んで「健康上の問題がないこと」「配偶者の家事・育児の協力が得られる」こと、東山区（回答者数が少ないため参考値）、南区では「健康上の問題」に並んで「配偶者の家事・育児の協力が得られる」「結婚すること」が多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-2 今後、子どもを持つ場合の条件（京都市・区別）

		(%)																			
		教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	結婚すること	雇用が安定すること	保育にあたりお金がかからないこと	保育サービスが整うこと	配偶者の家事・育児の協力が得られること	職場で働きながら子育てできる制度があること	家がある程度広いこと	職場の上司や、同僚の理解があること	住居にお金がかからないこと	高齢でないこと	自分または配偶者が近居、同居できること	配偶者以外の家族が地域の人がいること	出産・育児相談できること	差し支えがないこと	不妊治療が受けられること	その他	特になし	無回答
京都市全体 (n=2,401)		42.0	39.4	36.9	36.6	35.2	33.9	30.2	29.5	24.8	22.6	21.7	21.0	7.7	6.7	5.1	4.8	2.0	4.4	2.0	
男性	京都市(計) (n=905)	41.9	37.8	38.0	44.8	34.2	29.7	18.6	22.0	28.7	19.8	25.7	18.9	6.2	6.1	5.4	3.0	1.8	5.5	2.5	
	北 区 (n=57)	36.8	47.4	35.1	59.6	26.3	15.8	24.6	10.5	38.6	15.8	28.1	15.8	7.0	3.5	1.8	1.8	-	7.0	-	
	上 京 区 (n=53)	24.5	41.5	54.7	49.1	24.5	35.8	32.1	18.9	34.0	13.2	28.3	20.8	1.9	3.8	5.7	-	7.5	1.9	-	
	左 京 区 (n=96)	46.9	40.6	45.8	47.9	36.5	29.2	13.5	31.3	27.1	24.0	25.0	18.8	7.3	5.2	6.3	2.1	2.1	5.2	1.0	
	中 京 区 (n=79)	43.0	43.0	41.8	44.3	30.4	36.7	24.1	20.3	26.6	24.1	24.1	22.8	6.3	5.1	8.9	5.1	2.5	6.3	-	
	東 山 区 (n=22)	45.5	40.9	31.8	31.8	22.7	40.9	4.5	13.6	22.7	4.5	18.2	18.2	9.1	4.5	4.5	4.5	-	9.1	9.1	
	下 京 区 (n=60)	31.7	35.0	35.0	41.7	36.7	35.0	13.3	20.0	36.7	18.3	20.0	18.3	3.3	8.3	-	3.3	1.7	6.7	1.7	
	南 区 (n=56)	42.9	28.6	35.7	44.6	32.1	26.8	12.5	19.6	32.1	16.1	26.8	12.5	8.9	7.1	3.6	3.6	-	7.1	1.8	
	右 京 区 (n=123)	45.5	27.6	28.5	40.7	36.6	28.5	17.1	22.0	26.8	20.3	26.0	15.4	4.9	6.5	7.3	3.3	1.6	4.9	7.3	
	伏 見 区 (n=187)	40.1	43.3	42.8	46.5	39.6	29.4	20.3	26.2	24.1	18.2	25.7	21.9	6.4	7.0	4.8	2.1	2.1	5.3	1.6	
	山 科 区 (n=79)	41.8	34.2	35.4	44.3	35.4	20.3	17.7	21.5	29.1	32.9	24.1	13.9	10.1	8.9	6.3	1.3	1.3	6.3	3.8	
	西 京 区 (n=93)	51.6	35.5	30.1	38.7	32.3	36.6	19.4	19.4	29.0	17.2	30.1	24.7	4.3	4.3	6.5	6.5	1.1	4.3	2.2	
女性	京都市(計) (n=1,478)	42.5	40.7	36.6	31.9	36.3	36.9	37.7	34.4	22.8	24.5	19.5	22.5	8.7	7.2	4.9	5.9	2.1	3.7	0.8	
	北 区 (n=113)	45.1	38.1	35.4	30.1	38.1	37.2	32.7	28.3	22.1	21.2	18.6	25.7	7.1	5.3	5.3	6.2	4.4	4.4	0.9	
	上 京 区 (n=91)	29.7	35.2	45.1	42.9	30.8	37.4	41.8	36.3	24.2	26.4	16.5	19.8	5.5	6.6	8.8	5.5	1.1	6.6	-	
	左 京 区 (n=159)	42.8	36.5	37.1	25.2	37.7	38.4	31.4	32.1	18.9	26.4	18.2	24.5	11.3	6.3	8.2	3.1	1.9	5.7	0.6	
	中 京 区 (n=138)	36.2	47.8	42.0	32.6	31.2	39.1	41.3	35.5	18.1	22.5	14.5	29.0	9.4	8.7	8.7	4.3	1.4	5.1	-	
	東 山 区 (n=34)	35.3	44.1	41.2	35.3	35.3	26.5	44.1	41.2	14.7	32.4	14.7	26.5	8.8	5.9	8.8	2.9	2.9	2.9	-	
	下 京 区 (n=98)	39.8	45.9	39.8	27.6	32.7	38.8	37.8	35.7	26.5	28.6	15.3	20.4	9.2	11.2	7.1	9.2	3.1	5.1	-	
	南 区 (n=97)	37.1	41.2	39.2	29.9	32.0	36.1	40.2	37.1	26.8	19.6	22.7	17.5	5.2	6.2	3.1	10.3	5.2	3.1	-	
	右 京 区 (n=199)	44.7	44.2	31.7	30.2	40.2	36.7	42.7	33.7	25.1	23.6	20.6	17.1	7.5	7.5	3.0	8.0	1.5	2.5	1.0	
	伏 見 区 (n=259)	45.2	40.5	37.1	32.0	38.6	40.9	36.3	37.5	20.8	23.2	17.8	25.1	10.4	6.2	3.5	4.2	1.9	1.5	1.9	
	山 科 区 (n=138)	46.4	37.7	31.2	37.0	39.9	30.4	42.0	32.6	24.6	28.3	21.0	22.5	9.4	8.0	2.9	6.5	0.7	4.3	-	
	西 京 区 (n=152)	48.0	38.8	34.2	34.9	33.6	34.2	31.6	32.2	25.7	25.0	28.9	21.1	7.9	7.9	2.0	5.3	0.7	3.3	1.3	

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○丹後について市町別にみると（図表 IV-2-2-1-3）、男性ではいずれの市町でも「教育にお金がかかりかからないこと」が最も多くあげられている。京丹後市と与謝野町では、「教育費」と並んで「保育にあまりお金がかかりかからないこと」も多くあげられている。

○女性では、宮津市で「教育にお金がかかりかからないこと」と「保育にあまりお金がかかりかからないこと」が、京丹後市では「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、伊根町では「配偶者の家事・育児の協力が得られる」こと、「職場に働きながら子育てできる制度があること」が、与謝野町では「職場に子育て制度」が、それぞれ多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-3 今後、子どもを持つ場合の条件（丹後・市町別）

		ない教育にお金がかかりかからないこと	ない保育にあまりお金がかかりかからないこと	雇用が安定すること	職場に働きながら子育てできる制度があること	健康上の問題がないこと	結婚すること	配偶者の家事・育児の協力が得られること	保育サービスが整うこと	職場の上司や、同僚の理解があること	住居にお金がかかりかからないこと	自分または配偶者が高齢でないこと	家がある程度広いこと	不妊治療が受けられること	同居できる	配偶者以外の家族が近居、同居できる	出産・育児相談できる地域	自分の昇進・昇格に差し支えない	その他	特になし	無回答
丹後全体		(n=838)	43.2	41.9	34.9	34.6	33.8	33.8	32.5	30.5	25.6	21.3	19.9	13.0	6.6	6.1	5.5	5.4	2.7	3.7	4.3
男性	丹後（計）	(n=368)	46.3	44.7	41.2	26.7	31.8	41.6	19.9	30.1	19.3	21.7	17.5	14.8	5.2	4.9	6.1	6.8	2.6	3.7	2.4
	宮津市	(n=113)	46.9	43.4	38.9	21.2	33.6	37.2	19.5	31.0	23.9	24.8	21.2	16.8	2.7	10.6	8.0	7.1	3.5	5.3	1.8
	京丹後市	(n=94)	46.8	45.7	41.5	27.7	28.7	43.6	20.2	28.7	18.1	20.2	18.1	14.9	6.4	3.2	6.4	6.4	2.1	3.2	3.2
	伊根町	(n=57)	47.4	31.6	40.4	15.8	38.6	36.8	22.8	21.1	14.0	29.8	10.5	10.5	-	10.5	7.0	5.3	5.3	3.5	1.8
	与謝野町	(n=104)	44.2	44.2	42.3	29.8	37.5	40.4	19.2	33.7	19.2	22.1	13.5	13.5	4.8	3.8	3.8	7.7	2.9	3.8	1.0
女性	丹後（計）	(n=458)	42.3	41.1	31.2	41.8	36.5	28.9	43.3	31.7	31.3	21.8	22.4	12.0	7.8	7.3	5.2	4.5	2.8	3.8	2.7
	宮津市	(n=132)	43.2	43.2	22.0	35.6	39.4	23.5	40.2	31.8	31.8	15.2	17.4	12.9	6.1	8.3	7.6	3.8	3.8	3.8	3.8
	京丹後市	(n=123)	43.1	42.3	33.3	41.5	35.8	31.7	47.2	34.1	31.7	24.4	22.8	9.8	10.6	8.1	4.1	4.9	3.3	3.3	2.4
	伊根町	(n=60)	31.7	35.0	18.3	40.0	31.7	30.0	41.7	33.3	31.7	18.3	16.7	11.7	3.3	5.0	15.0	1.7	-	6.7	1.7
	与謝野町	(n=143)	40.6	37.1	33.6	46.9	36.4	25.9	36.4	25.9	30.1	20.3	25.2	16.8	2.8	4.9	5.6	4.2	1.4	4.9	2.8

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○中丹について市別にみると（図表 IV-2-2-1-4）、男性では福知山市で「雇用が安定すること」が、舞鶴市では「健康上の問題がないこと」と「結婚すること」が、綾部市では「健康上の問題がないこと」が、それぞれ多くあげられている。

○女性では、福知山市で「教育にお金がかからないこと」が、舞鶴市で「教育にお金がかからないこと」と「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、綾部市では「保育にあまりお金がかからないこと」「教育にお金がかからないこと」「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、それぞれ多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-4 今後、子どもを持つ場合の条件（中丹・市別）

		図表 IV-2-2-1-4 今後、子どもを持つ場合の条件（中丹・市別）																			(%)
		教育にお金がかからないこと	保育にあまりお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	雇用が安定すること	結婚すること	配偶者の家事・育児の協力が得られる	職場に働きながら子育てできる制度がある	保育サービスが整うこと	職場の上司や、同僚の理解がある	住居にお金がかからないこと	自分または配偶者が高齢でないこと	家がある程度広いこと	同居できる	配偶者以外の家族が近居、出産・育児相談できる地域の人がいる	不妊治療が受けられること	えがない自分の昇進・昇格に差し支	その他	特にな	無回答	
中丹全体		(n=645)	44.0	38.6	37.5	36.7	32.9	32.6	30.4	30.1	24.9	21.3	19.2	18.3	8.5	8.4	5.6	3.9	0.5	3.7	3.6
男性	中丹（計）	(n=266)	43.1	37.7	39.6	43.5	39.8	18.2	20.4	30.4	16.8	20.2	18.6	24.2	5.2	6.4	2.2	5.9	0.5	5.2	2.8
	福知山市	(n=87)	44.8	42.5	33.3	47.1	35.6	24.1	18.4	36.8	12.6	25.3	18.4	19.5	5.7	6.9	1.1	5.7	1.1	8.0	3.4
	舞鶴市	(n=84)	41.7	32.1	44.0	40.5	44.0	13.1	22.6	27.4	17.9	14.3	17.9	32.1	3.6	8.3	2.4	6.0	-	2.4	2.4
	綾部市	(n=95)	42.1	38.9	44.2	42.1	40.0	15.8	20.0	22.1	24.2	22.1	21.1	16.8	7.4	1.1	4.2	6.3	-	5.3	2.1
女性	中丹（計）	(n=374)	45.2	39.7	36.6	32.6	28.6	42.9	37.6	30.4	30.7	22.2	19.9	14.5	11.0	9.8	8.0	2.5	0.5	2.6	2.8
	福知山市	(n=125)	46.4	44.0	37.6	35.2	30.4	41.6	39.2	28.8	28.0	21.6	15.2	10.4	9.6	8.0	9.6	2.4	0.8	3.2	4.0
	舞鶴市	(n=137)	46.0	35.8	36.5	32.8	27.0	45.3	38.7	34.3	34.3	23.4	23.4	19.7	13.1	11.7	6.6	2.9	-	0.7	0.7
	綾部市	(n=112)	39.3	40.2	33.9	24.1	28.6	39.3	29.5	22.3	26.8	20.5	22.3	9.8	8.0	8.9	8.0	1.8	0.9	7.1	6.3

【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市）（2014 年）】

○南丹について市町別にみると（図表 IV-2-2-1-5）、男性では亀岡市で「結婚すること」が、南丹市と京丹波町では「教育にお金がかからないこと」と「雇用が安定すること」が、それぞれ多くあげられている。

○女性では、亀岡市で「教育にお金がかからないこと」と「保育にお金がかからないこと」が、南丹市で「職場に働きながら子育てできる制度がある」ことと「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、京丹波町で「健康上の問題がないこと」が、それぞれ多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-5 今後、子どもを持つ場合の条件（南丹・市町別）

図表 IV-2-2-1-5 今後、子どもを持つ場合の条件（南丹・市町別）

		(%)																			
		教育にお金がかからないこと	保育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	結婚すること	雇用が安定すること	職場に働きながら子育てできる制度があること	配偶者の家事・育児の協力が得られること	保育サービスが整うこと	住居にお金がかからないこと	自分または配偶者が高齢でないこと	職場の上司や、同僚の理解があること	家がある程度広いこと	出産・育児相談できる地域の人がいること	配偶者以外の家族が近居、同居できること	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	不妊治療が受けられること	その他	特になし	無回答	
男性	南丹全体	(n=633)	44.6	39.7	39.4	38.4	38.3	32.7	30.0	26.2	23.1	21.4	20.5	15.3	7.0	6.5	4.7	4.5	1.8	4.0	2.8
	南丹（計）	(n=252)	42.4	32.4	40.5	47.0	46.6	23.0	15.6	29.4	21.2	22.3	14.0	15.4	6.9	5.1	4.1	3.2	2.1	3.3	4.2
	亀岡市	(n=79)	41.8	31.6	43.0	53.2	48.1	21.5	17.7	27.8	21.5	22.8	11.4	12.7	7.6	5.1	3.8	2.5	1.3	2.5	3.8
	南丹市	(n=94)	45.7	36.2	37.2	34.0	45.7	28.7	10.6	35.1	19.1	22.3	20.2	21.3	6.4	4.3	4.3	4.3	4.3	3.2	5.3
	京丹波町	(n=79)	38.0	27.8	30.4	35.4	38.0	19.0	12.7	25.3	24.1	19.0	16.5	20.3	2.5	7.6	6.3	5.1	2.5	8.9	3.8
女性	南丹（計）	(n=374)	46.6	44.9	39.2	33.3	33.4	39.3	39.7	24.5	24.7	21.1	25.0	15.5	7.2	7.4	5.2	5.4	1.6	4.5	0.7
	亀岡市	(n=129)	48.8	47.3	38.8	31.0	34.1	38.0	38.8	20.9	27.9	20.9	21.7	16.3	7.0	7.8	4.7	4.7	2.3	4.7	0.8
	南丹市	(n=125)	43.2	40.0	39.2	38.4	30.4	45.6	44.8	32.0	17.6	21.6	36.0	14.4	8.8	8.0	6.4	5.6	-	4.0	-
	京丹波町	(n=120)	36.7	36.7	42.5	40.0	34.2	35.0	35.0	35.8	15.0	21.7	25.8	11.7	5.0	3.3	6.7	10.8	-	5.0	1.7

【20～44歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014年）】

○乙訓について市町別にみると（図表 IV-2-2-1-6）、男性では向日市で「健康上の問題がないこと」が、長岡京市で「雇用が安定すること」が、大山崎町で「教育にお金がかからないこと」が、それぞれ最も多くあげられている。

○女性では、向日市で「健康上の問題がないこと」が、長岡京市で「保育サービスが整うこと」が、大山崎町で「教育にお金がかからないこと」が、それぞれ最も多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-6 今後、子どもを持つ場合の条件（乙訓・市町別）

			健康上の問題がないこと	教育にお金がかからないこと	結婚すること	保育サービスが整うこと	雇用が安定すること	保育にあまりお金がかからないこと	配偶者の家事・育児の協力が得られること	職場に働きながら子育てできる制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	自分または配偶者が高齢でないこと	家がある程度広いこと	住居にお金がかからないこと	同居できる	配偶者以外の家族が近居、出産・育児相談できる地域の人がいる	自分の昇進・昇格に差し支えない	不妊治療が受けられること	その他	特になし	無回答
乙訓全体		(n=697)	40.3	38.4	35.9	35.6	35.2	31.9	30.5	29.0	22.7	22.4	19.6	19.4	8.9	7.1	5.5	4.1	1.1	5.1	1.9
男性	乙訓（計）	(n=259)	40.4	42.1	38.5	29.2	46.5	29.9	13.5	22.8	18.7	21.2	20.2	23.8	5.7	6.3	5.9	2.2	1.3	5.7	1.3
	向日市	(n=87)	46.0	41.4	36.8	23.0	42.5	28.7	12.6	20.7	20.7	24.1	26.4	16.1	5.7	2.3	5.7	2.3	1.1	4.6	1.1
	長岡京市	(n=88)	37.5	42.0	39.8	33.0	50.0	29.5	13.6	25.0	18.2	20.5	14.8	28.4	5.7	9.1	6.8	1.1	1.1	6.8	1.1
	大山崎町	(n=84)	36.9	45.2	36.9	29.8	40.5	35.7	15.5	17.9	14.3	15.5	28.6	25.0	6.0	4.8	1.2	8.3	2.4	3.6	2.4
女性	乙訓（計）	(n=429)	40.7	36.6	34.9	40.0	28.7	33.6	41.2	33.2	25.4	23.4	19.5	16.9	10.9	7.7	5.3	5.3	1.1	4.8	1.0
	向日市	(n=149)	49.7	40.3	34.2	36.9	27.5	35.6	43.6	29.5	18.1	22.1	19.5	20.8	10.1	6.0	3.4	4.7	1.3	5.4	2.7
	長岡京市	(n=141)	34.8	32.6	36.2	43.3	29.1	33.3	39.7	34.0	30.5	24.1	19.9	13.5	11.3	9.2	6.4	5.7	0.7	5.0	-
	大山崎町	(n=139)	41.0	45.3	30.2	33.1	30.9	27.3	40.3	41.7	23.7	23.7	17.3	21.6	11.5	5.8	6.5	5.0	2.2	2.2	0.7

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○学研都市について市町別にみると（図表 IV-2-2-1-7）、男性では京田辺市で「雇用が安定すること」が、木津川市と精華町で「教育にお金がかからないこと」が、それぞれ最も多くあげられている。

○女性では、京田辺市、木津川市、精華町のいずれも「教育にお金がかからないこと」が、最も多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-7 今後、子どもを持つ場合の条件（学研都市・市町別）

(%)

		教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	保育サービスが整うこと	保育にあまりお金がかからないこと	雇用が安定すること	配偶者の家事・育児の協力が得られる	結婚すること	職場に働きながら子育てできる制度がある	自分または配偶者が高齢でないこと	住居にお金がかからないこと	職場の上司や、同僚の理解がある	家がある程度広いこと	配偶者以外の家族が近居、同居できる	出産・育児相談できる地域の人がいる	不妊治療が受けられること	えが自分の昇進・昇格に差し支えない	その他	特になし	無回答
学研都市全体	(n=730)	49.4	38.0	37.9	36.7	36.0	33.1	32.1	28.1	24.2	21.2	20.4	19.0	8.4	7.2	6.1	5.0	3.0	3.2	1.5
学研都市(計)	(n=278)	49.6	33.4	33.8	33.5	44.2	18.1	36.7	22.9	25.0	25.4	18.4	23.0	6.6	6.4	3.0	6.8	2.6	5.5	0.8
男性																				
京田辺市	(n=112)	47.3	28.6	28.6	27.7	51.8	20.5	33.0	23.2	25.9	25.9	15.2	24.1	6.3	3.6	1.8	8.0	1.8	8.0	1.8
木津川市	(n=84)	52.4	35.7	39.3	35.7	38.1	14.3	38.1	21.4	23.8	27.4	21.4	23.8	8.3	9.5	3.6	4.8	2.4	3.6	-
精華町	(n=82)	48.8	40.2	34.1	42.7	39.0	20.7	42.7	25.6	25.6	19.5	19.5	18.3	3.7	6.1	4.9	8.5	4.9	3.7	-
女性																				
学研都市(計)	(n=447)	49.6	41.4	41.0	39.2	31.0	43.1	29.3	31.6	24.0	18.7	21.9	16.6	9.7	7.7	8.1	3.9	3.2	1.7	1.2
京田辺市	(n=142)	47.9	35.9	41.5	35.9	30.3	42.3	24.6	29.6	23.9	21.1	22.5	15.5	10.6	7.0	9.9	4.2	4.2	2.1	2.1
木津川市	(n=141)	51.8	46.1	41.8	43.3	30.5	44.0	35.5	29.8	24.1	14.9	21.3	16.3	9.9	8.5	6.4	3.5	2.8	0.7	0.7
精華町	(n=164)	48.2	40.9	38.4	36.6	32.9	42.7	25.0	38.4	23.8	22.0	22.0	18.9	7.9	7.3	8.5	4.3	2.4	3.0	0.6

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○相楽東部について町村別にみると（図表 IV-2-2-1-8）、男性では笠置町（回答者数が少ないため参考値）で「教育にお金がかからないこと」が、和束町で「結婚すること」と「雇用が安定すること」が、南山城村で「結婚すること」が、それぞれ多くあげられている。

○女性では、笠置町（回答者数が少ないため参考値）と和束町で「結婚すること」が、南山城村で「健康上の問題がないこと」が、それぞれ最も多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-8 今後、子どもを持つ場合の条件（相楽東部・町村別）

		(%)																		
		結婚すること	雇用が安定すること	健康上の問題がないこと	教育にお金がかからないこと	保育サービスが整うこと	保育にあまりお金がかからないこと	配偶者の家事・育児の協力が得られること	職場に働きながら子育てできる制度があること	職場の上司や、同僚の理解があること	住居にお金がかからないこと	自分または配偶者が高齢でないこと	家がある程度広いこと	出産・育児相談できる地域の人がいること	配偶者以外の家族が近居、同居できること	不妊治療が受けられること	自分の昇進・昇格に差し支えないこと	その他	特になし	無回答
相楽東部全体 (n=394)		48.1	38.7	37.8	35.4	33.5	31.5	29.0	25.2	18.8	17.2	15.4	14.0	7.5	6.1	4.5	3.0	1.4	5.7	3.9
相 楽 東 部 (計) (n=156)		51.3	46.7	36.8	39.5	26.5	28.4	16.8	17.4	16.7	22.4	18.0	16.8	7.1	7.1	3.2	2.9	0.7	7.8	2.0
男 性	笠 置 町 (n=28)	46.4	32.1	35.7	50.0	42.9	42.9	17.9	28.6	25.0	17.9	17.9	10.7	10.7	3.6	3.6	-	-	14.3	-
	和 束 町 (n=67)	50.7	49.3	35.8	37.3	20.9	20.9	19.4	13.4	13.4	23.9	20.9	22.4	6.0	6.0	3.0	-	1.5	6.0	3.0
	南 山 城 村 (n=61)	55.7	52.5	39.3	36.1	24.6	31.1	11.5	16.4	16.4	23.0	13.1	11.5	6.6	11.5	3.3	9.8	-	6.6	1.6
相 楽 東 部 (計) (n=230)		47.0	34.1	39.7	33.8	38.9	34.2	38.3	31.3	20.9	13.7	14.2	12.6	8.1	5.7	5.5	3.2	1.8	4.0	2.9
女 性	笠 置 町 (n=39)	66.7	35.9	41.0	28.2	43.6	28.2	43.6	43.6	23.1	23.1	12.8	7.7	-	2.6	2.6	7.7	-	2.6	-
	和 束 町 (n=99)	45.5	32.3	36.4	35.4	36.4	41.4	36.4	25.3	18.2	11.1	12.1	14.1	12.1	5.1	6.1	2.0	1.0	5.1	5.1
	南 山 城 村 (n=92)	37.0	35.9	44.6	34.8	40.2	26.1	38.0	33.7	23.9	12.0	18.5	13.0	6.5	8.7	6.5	2.2	4.3	3.3	1.1

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○山城北について市町別にみると（図表 IV-2-2-1-9）、男性では宇治市と八幡市で「教育にお金がかからないこと」が、城陽市と久御山町で「雇用が安定すること」が、井手町で「結婚すること」が、宇治田原町で「健康上の問題がないこと」「雇用が安定すること」「結婚すること」が、それぞれ多くあげられている。

○女性では、宇治市で「教育にお金がかからないこと」が、城陽市で「健康上の問題がないこと」と「教育にお金がかからないこと」が、八幡市で「健康上の問題がないこと」が、久御山町で「教育にお金がかからないこと」と「配偶者の家事・育児の協力が得られる」こと、「健康上の問題がないこと」が、井手町で「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、宇治田原町で「教育にお金がかからないこと」「雇用が安定すること」「配偶者の家事・育児の協力が得られる」ことが、それぞれ多くあげられている。

図表 IV-2-2-1-9 今後、子どもを持つ場合の条件（山城北・市町別）

		図表 IV-2-2-19 子育て後、子どもを持つ場合の条件（山城北・市町別）																			(%)
		教育にお金がかからないこと	健康上の問題がないこと	雇用が安定すること	結婚すること	保育にあまりお金がかからないこと	保育サービスが整うこと	配偶者の家事・育児の協力が得られる	職場に働きながら子育てできる制度がある	住居にお金がかからないこと	自分または配偶者が高齢でないこと	職場の上司や、同僚の理解がある	家がある程度広いこと	出産・育児相談できる地域の人がいる	配偶者以外の家族が近居、同居できる	不妊治療が受けられること	えがけない昇進・昇格に差し支えない	その他	特になし	無回答	
男性	山城北全体	(n=1,175)	45.8	39.8	38.0	37.3	33.4	31.4	30.2	28.9	22.1	21.4	21.3	19.2	7.1	6.8	6.2	3.1	2.0	4.0	2.2
	山城北（計）	(n=477)	47.0	34.7	47.3	41.5	33.8	26.2	18.3	21.7	27.1	17.8	17.4	20.6	5.6	6.3	3.8	5.3	2.7	6.2	1.8
	宇治市	(n=89)	48.3	31.5	43.8	40.4	34.8	30.3	16.9	22.5	29.2	14.6	15.7	25.8	4.5	7.9	5.6	5.6	3.4	5.6	3.4
	城陽市	(n=86)	44.2	36.0	60.5	45.3	31.4	25.6	19.8	24.4	19.8	19.8	20.9	11.6	4.7	7.0	1.2	5.8	1.2	4.7	-
	八幡市	(n=71)	49.3	40.8	40.8	36.6	35.2	16.9	19.7	16.9	31.0	23.9	19.7	16.9	8.5	1.4	2.8	4.2	2.8	8.5	-
	久御山町	(n=65)	47.7	38.5	60.0	52.3	35.4	26.2	16.9	21.5	24.6	16.9	12.3	20.0	12.3	7.7	1.5	4.6	3.1	6.2	-
	井手町	(n=82)	26.8	25.6	48.8	51.2	19.5	24.4	18.3	22.0	18.3	19.5	13.4	14.6	2.4	6.1	2.4	4.9	2.4	14.6	2.4
	宇治田原町	(n=84)	40.5	47.6	47.6	47.6	29.8	19.0	26.2	21.4	20.2	21.4	16.7	14.3	4.8	3.6	-	6.0	1.2	7.1	-
女性	山城北（計）	(n=689)	45.3	43.6	31.9	34.7	33.4	35.1	38.5	34.1	18.8	24.0	24.1	18.5	8.2	7.1	7.8	1.6	1.4	2.5	1.8
	宇治市	(n=128)	46.9	40.6	30.5	38.3	26.6	36.7	38.3	32.8	20.3	25.8	24.2	20.3	8.6	7.8	9.4	0.8	0.8	2.3	2.3
	城陽市	(n=132)	47.0	47.7	33.3	31.8	39.4	30.3	39.4	41.7	19.7	18.9	21.2	18.2	7.6	7.6	7.6	3.8	0.8	2.3	0.8
	八幡市	(n=105)	40.0	47.6	32.4	27.6	43.8	37.1	35.2	28.6	12.4	27.6	24.8	14.3	7.6	3.8	5.7	1.0	3.8	2.9	1.9
	久御山町	(n=121)	44.6	42.1	30.6	35.5	34.7	30.6	44.6	38.8	24.0	17.4	32.2	19.8	8.3	9.9	3.3	4.1	0.8	2.5	-
	井手町	(n=94)	43.6	43.6	41.5	41.5	42.6	36.2	50.0	26.6	19.1	21.3	25.5	19.1	7.4	7.4	6.4	1.1	2.1	2.1	1.1
	宇治田原町	(n=109)	44.0	41.3	44.0	32.1	33.0	33.0	43.1	36.7	21.1	15.6	23.9	11.9	8.3	9.2	4.6	1.8	2.8	4.6	0.9

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

② 充実を希望する子育て支援サービス

○府内の地域別に充実してほしい子育て支援サービスをみると（図表 IV-2-2-2-1）、男女ともいずれの地域でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多く、希望が強いといえる。

○男性では京都市、丹後、中丹、乙訓、学研都市で、女性ではすべての地域で第2位に「一時預かりの実施」があげられている。南丹の男性では「子育て支援に関する情報提供」が、相楽東部と山城北で「育児の不安や悩みの相談窓口」が、それぞれ第2位にあげられている。

○「親のリフレッシュの場や機会の提供」は、中丹の男女と乙訓の男性で多くあげられている。

図表 IV-2-2-2-1 充実を希望する子育て支援サービス（地域別）

		n	(%)				
			1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		(7,593)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (58.6)	一時預かりの実施 (49.6)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (38.3)	子育て支援に関する 情報提供 (36.9)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (35.8)
男 性	京都市	(905)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (56.5)	一時預かりの実施 (47.0)	子育て支援に関する 情報提供 (36.0)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (34.6)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (30.9)
	丹後	(368)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (48.8)	一時預かりの実施 (38.6)	子育て支援に関する 情報提供 (38.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (37.1)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (28.9)
	中丹	(266)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (52.1)	一時預かりの実施 (44.3)	子育て支援に関する 情報提供 (41.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (39.8)	親のリフレッシュの 場や機会の提供 (30.1)
	南丹	(252)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (53.2)	子育て支援に関する 情報提供 (38.3)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (36.3)	一時預かりの実施 (35.5)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (30.3)
	乙訓	(259)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (59.1)	一時預かりの実施 (40.1)	子育て支援に関する 情報提供 (37.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (33.6)	親のリフレッシュの 場や機会の提供 (27.1)
	学研都市	(278)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (56.8)	一時預かりの実施 (46.5)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (36.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (34.7)	子育て支援に関する 情報提供 (33.4)
	相楽東部	(156)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (50.7)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (42.2)	一時預かりの実施 (40.0)	子育て支援に関する 情報提供 (30.4)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (25.6)
	山城北	(477)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (58.6)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (37.0)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (34.3)	子育て支援に関する 情報提供 (33.9)	一時預かりの実施 (32.3)
女 性	京都市	(1,478)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (61.1)	一時預かりの実施 (56.0)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (44.5)	子育て支援に関する 情報提供 (37.3)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (34.7)
	丹後	(458)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (52.1)	一時預かりの実施 (44.2)	子育て支援に関する 情報提供 (40.7)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (36.2)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (33.8)
	中丹	(374)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (62.4)	一時預かりの実施 (49.8)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (37.5)	親のリフレッシュの 場や機会の提供 (35.7)	子育て支援に関する 情報提供 (35.7)
	南丹	(374)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (51.4)	一時預かりの実施 (46.1)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (39.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (37.4)	子育て支援に関する 情報提供 (32.9)
	乙訓	(429)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (64.4)	一時預かりの実施 (55.1)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (43.1)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (38.7)	子育て支援に関する 情報提供 (38.0)
	学研都市	(447)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (60.0)	一時預かりの実施 (53.2)	子育て支援に関する 情報提供 (38.7)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (37.8)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (33.5)
	相楽東部	(230)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (55.6)	一時預かりの実施 (49.7)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (40.2)	子育て支援に関する 情報提供 (37.0)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (36.3)
	山城北	(689)	子どもを遊ばせる場 や機会の提供 (61.0)	一時預かりの実施 (51.5)	病児保育・病後児保 育サービスの実施 (44.0)	育児の不安や悩みの 相談窓口 (42.9)	子育て支援に関する 情報提供 (40.0)

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○京都市内を区別にみると（図表 IV-2-2-2-2）、男性では、左京区以外の区で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。左京区では、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」に並んで「一時預かりの実施」が多い。

○女性では、上京区、左京区、中京区、下京区以外の区で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。上京区と中京区では「一時預かりの実施」が、左京区と下京区では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「一時預かりの実施」が、それぞれ多くあげられている。

図表 IV-2-2-2-2 充実を希望する子育て支援サービス（京都市・区別）

																(%)
		子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	病児保育・病後児保育サービスの実施	子育て支援に関する情報提供	育児の不安や悩みの相談窓口	親の育児・生活の場や機会の提供	初産を控える人対象の講座や育児相談	地域のサークル活動等の支援	子どもの学習や幼児教育のプログラム	子どもの健康等に関する子育て勉強会	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特になし	無回答	
京都市全体		(n=2,401)	59.2	52.5	39.3	36.8	34.6	29.3	27.2	20.9	20.7	19.9	14.7	4.5	5.2	2.5
男性	京都市(計)	(n=905)	56.5	47.0	30.9	36.0	34.6	26.6	25.4	22.8	22.6	20.1	13.9	3.9	7.4	3.0
	北 区	(n=57)	57.9	43.9	29.8	49.1	35.1	24.6	14.0	21.1	28.1	14.0	12.3	1.8	10.5	3.5
	上 京 区	(n=53)	66.0	56.6	37.7	39.6	32.1	30.2	26.4	13.2	22.6	24.5	9.4	3.8	1.9	-
	左 京 区	(n=96)	53.1	55.2	37.5	37.5	34.4	18.8	28.1	30.2	21.9	17.7	15.6	3.1	4.2	2.1
	中 京 区	(n=79)	65.8	51.9	24.1	40.5	36.7	34.2	30.4	24.1	27.8	27.8	16.5	5.1	2.5	-
	東 山 区	(n=22)	45.5	40.9	22.7	22.7	22.7	22.7	40.9	18.2	9.1	31.8	27.3	9.1	4.5	18.2
	下 京 区	(n=60)	58.3	55.0	33.3	36.7	25.0	23.3	20.0	25.0	23.3	11.7	13.3	5.0	6.7	3.3
	南 区	(n=56)	53.6	37.5	35.7	30.4	30.4	23.2	32.1	23.2	25.0	21.4	12.5	5.4	12.5	-
	右 京 区	(n=123)	55.3	50.4	27.6	34.1	28.5	19.5	20.3	22.8	21.1	19.5	11.4	0.8	12.2	4.1
	伏 見 区	(n=187)	51.3	41.2	32.6	34.8	41.2	29.9	26.2	20.3	24.1	19.3	13.4	5.3	9.1	3.2
	山 科 区	(n=79)	57.0	46.8	27.8	25.3	38.0	32.9	26.6	17.7	21.5	16.5	10.1	3.8	7.6	3.8
	西 京 区	(n=93)	62.4	43.0	26.9	41.9	37.6	31.2	24.7	29.0	17.2	25.8	19.4	3.2	3.2	3.2
女性	京都市(計)	(n=1,478)	61.1	56.0	44.5	37.3	34.7	31.0	28.5	19.9	19.6	19.8	15.2	4.8	3.9	1.8
	北 区	(n=113)	63.7	54.9	42.5	42.5	33.6	33.6	31.0	19.5	14.2	18.6	12.4	5.3	2.7	3.5
	上 京 区	(n=91)	61.5	64.8	50.5	40.7	30.8	28.6	29.7	18.7	18.7	16.5	20.9	8.8	3.3	1.1
	左 京 区	(n=159)	58.5	58.5	39.6	32.7	37.7	27.0	31.4	27.7	15.1	21.4	15.1	5.0	5.7	1.9
	中 京 区	(n=138)	55.1	60.9	48.6	42.8	36.2	26.8	29.0	20.3	23.2	18.8	15.2	5.1	4.3	1.4
	東 山 区	(n=34)	67.6	64.7	44.1	41.2	32.4	14.7	29.4	14.7	14.7	26.5	20.6	11.8	-	-
	下 京 区	(n=98)	61.2	59.2	48.0	35.7	35.7	31.6	25.5	20.4	22.4	19.4	11.2	8.2	5.1	1.0
	南 区	(n=97)	62.9	54.6	41.2	34.0	32.0	37.1	26.8	20.6	19.6	22.7	15.5	3.1	5.2	-
	右 京 区	(n=199)	60.8	48.7	37.2	32.2	35.7	30.2	29.1	16.6	19.6	21.6	15.1	3.5	3.5	2.0
	伏 見 区	(n=259)	63.3	54.8	50.2	38.2	33.2	30.9	28.2	20.1	22.4	15.1	14.7	3.9	2.3	3.1
	山 科 区	(n=138)	58.7	50.7	42.0	40.6	31.9	32.6	25.4	15.2	24.6	20.3	17.4	5.1	5.8	2.9
	西 京 区	(n=152)	61.8	58.6	46.7	36.8	38.8	36.8	27.6	20.4	16.4	23.7	14.5	2.6	3.9	-

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○丹後について市町別にみると（図表 IV-2-2-2-3）、男性では、宮津市で「一時預かりの実施」が、京丹後市、伊根町、与謝野町で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

○女性では、いずれの市町でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。伊根町では、「育児の不安や悩みの相談窓口」も並んで多くなっている。

図表 IV-2-2-2-3 充実を希望する子育て支援サービス（丹後・市町別）

			(%)														
			子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	子育て支援に関する情報提供	育児の不安や悩みの相談窓口	病児保育・病後児保育サービスの実施	親のリフレッシュの場や機会の提供	初産を控える人対象の講座や育児体験	地域のサークル活動等の支援	子どもの学習や幼児教育のプログラム	子どもの健康等に関する子育て勉強会	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特にない	無回答	
丹後全体			(n=838)	50.2	41.3	39.4	36.4	31.3	30.9	25.8	20.1	18.8	18.7	15.2	2.5	5.2	4.8
男性	丹 後（計）	(n=368)	48.8	38.6	38.1	37.1	28.9	28.5	27.7	22.3	21.4	18.2	15.8	3.1	6.6	4.3	
	宮 津 市	(n=113)	45.1	47.8	31.0	26.5	32.7	31.0	22.1	16.8	19.5	14.2	15.0	3.5	13.3	4.4	
	京丹後市	(n=94)	46.8	31.9	39.4	42.6	27.7	28.7	29.8	23.4	21.3	17.0	17.0	4.3	3.2	5.3	
	伊 根 町	(n=57)	47.4	35.1	29.8	31.6	19.3	19.3	31.6	24.6	26.3	21.1	12.3	1.8	8.8	3.5	
	与謝野町	(n=104)	56.7	48.1	41.3	32.7	29.8	26.9	26.9	24.0	23.1	24.0	13.5	-	9.6	1.9	
女性	丹 後（計）	(n=458)	52.1	44.2	40.7	36.2	33.8	32.7	24.2	18.8	17.4	19.6	14.7	2.1	4.3	4.2	
	宮 津 市	(n=132)	54.5	42.4	37.9	33.3	38.6	34.8	23.5	22.7	20.5	22.0	9.8	3.8	3.8	3.0	
	京丹後市	(n=123)	49.6	43.9	39.8	35.8	31.7	30.9	26.0	16.3	16.3	17.9	15.4	1.6	4.1	4.9	
	伊 根 町	(n=60)	56.7	41.7	38.3	55.0	21.7	40.0	23.3	28.3	11.7	26.7	18.3	3.3	1.7	5.0	
	与謝野町	(n=143)	55.9	46.2	44.8	37.8	36.4	35.0	20.3	21.7	18.2	21.7	16.1	2.1	5.6	3.5	

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○中丹について市別にみると（図表 IV-2-2-2-4）、男性は、福知山市では「一時預かりの実施」と並んで「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「子育て支援に関する情報提供」が、舞鶴市、綾部市では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

○女性では、福知山市で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と並んで「一時預かりの実施」が、舞鶴市、綾部市では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

図表 IV-2-2-2-4 充実を希望する子育て支援サービス（中丹・市別）

		(%)													
		子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	子育て支援に関する情報提供	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓	育児の不安や悩みの相談窓
中丹全体		(n=645)	57.9	47.6	37.9	36.2	34.2	33.2	24.8	20.6	20.5	17.5	12.1	2.9	5.4
男	中丹（計）	(n=266)	52.1	44.3	41.1	39.8	29.6	30.1	28.7	22.8	21.0	20.9	13.4	3.3	7.3
	福知山市	(n=87)	47.1	49.4	47.1	44.8	27.6	27.6	29.9	26.4	21.8	21.8	9.2	4.6	5.7
	舞鶴市	(n=84)	54.8	40.5	38.1	36.9	32.1	33.3	28.6	16.7	21.4	22.6	14.3	2.4	8.3
	綾部市	(n=95)	57.9	41.1	33.7	34.7	28.4	28.4	26.3	28.4	17.9	14.7	21.1	2.1	8.4
女	中丹（計）	(n=374)	62.4	49.8	35.7	33.9	37.5	35.7	22.5	19.0	20.4	15.5	11.4	2.7	4.2
	福知山市	(n=125)	60.0	59.2	33.6	31.2	37.6	36.0	16.8	16.8	20.0	16.8	10.4	2.4	4.8
	舞鶴市	(n=137)	67.9	45.3	37.2	36.5	40.1	37.2	28.5	19.7	20.4	12.4	12.4	2.2	2.9
	綾部市	(n=112)	51.8	37.5	36.6	33.0	28.6	30.4	19.6	23.2	21.4	21.4	10.7	5.4	6.3

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○南丹について市町別にみると（図表 IV-2-2-2-5）、男性では、いずれの市町でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。

○女性では、亀岡市で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と並んで「一時預かりの実施」が、南丹市、京丹後町では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

図表 IV-2-2-2-5 充実を希望する子育て支援サービス（南丹・市町別）

		(%)															
		の子どもを遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	病児保育・病後児保育サービスの実施	子育て支援に関する情報提供	親の育児のリフレッシュの場や機会の提供	初産を控える人対象の講座や育児体験	地域のサークル活動等の支援	子どもの健康等に関する子育て勉強会	子どもの学習や幼児教育のプログラム	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特にな	無回答		
南丹全体		(n=633)	51.8	42.0	36.8	35.7	34.9	30.6	26.2	23.1	20.1	18.6	14.8	3.1	6.1	4.1	
男性	南丹（計）	(n=252)	53.2	35.5	36.3	30.3	38.3	27.4	27.8	22.6	18.4	14.8	14.6	0.9	5.0	5.9	
	亀岡市	(n=79)	54.4	38.0	35.4	34.2	39.2	27.8	29.1	26.6	17.7	16.5	15.2	—	2.5	5.1	
	南丹市	(n=94)	52.1	29.8	41.5	21.3	36.2	25.5	28.7	13.8	16.0	10.6	12.8	3.2	8.5	8.5	
	京丹波町	(n=79)	46.8	31.6	29.1	25.3	36.7	29.1	15.2	16.5	30.4	13.9	15.2	1.3	13.9	5.1	
女性	南丹（計）	(n=374)	51.4	46.1	37.4	39.1	32.9	32.3	25.3	23.7	21.5	21.3	15.1	4.6	6.7	2.7	
	亀岡市	(n=129)	47.3	46.5	38.0	38.0	31.0	31.8	25.6	24.0	17.8	20.2	14.7	5.4	7.8	3.1	
	南丹市	(n=125)	64.0	46.4	36.0	44.0	41.6	36.0	24.8	24.0	32.8	27.2	15.2	2.4	4.0	—	
	京丹波町	(n=120)	55.0	41.7	35.8	36.7	28.3	28.3	24.2	20.0	24.2	16.7	18.3	3.3	5.0	5.8	

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○乙訓について市町別にみると（図表 IV-2-2-2-6）、男女ともいずれの市町でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。

図表 IV-2-2-2-6 充実を希望する子育て支援サービス（乙訓・市町別）

		(%)														
		子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	子育て支援に関する情報提供	病児保育・病後児保育サービスの実施	育児不安や悩みの相談窓口	親のフレッシュの場や機会の提供	初産を控える人対象の講座や育児体験	地域のサークル活動等の支援	子どもの健康等に関する子育て勉強会	子どもの学習や幼児教育のプログラム	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特にない	無回答	
乙訓全体		(n=697)	62.4	49.7	37.9	37.1	36.7	32.1	24.6	21.7	19.7	18.0	15.0	2.3	4.4	2.9
男性	乙訓（計）	(n=259)	59.1	40.1	37.1	26.9	33.6	27.1	25.2	22.2	19.6	21.3	15.2	1.3	6.8	4.5
	向日市	(n=87)	51.7	39.1	32.2	26.4	39.1	18.4	25.3	16.1	17.2	21.8	17.2	3.4	5.7	5.7
	長岡京市	(n=88)	63.6	38.6	39.8	26.1	29.5	31.8	25.0	26.1	19.3	20.5	14.8	—	8.0	3.4
	大山崎町	(n=84)	59.5	52.4	39.3	33.3	36.9	31.0	26.2	21.4	29.8	23.8	10.7	1.2	3.6	6.0
女性	乙訓（計）	(n=429)	64.4	55.1	38.0	48.1	38.7	35.4	24.3	21.6	19.6	15.8	15.0	2.9	3.0	1.9
	向日市	(n=149)	63.8	53.7	41.6	45.0	38.3	32.9	19.5	22.1	15.4	19.5	14.8	1.3	4.0	2.7
	長岡京市	(n=141)	65.2	56.7	36.2	41.8	39.0	36.9	27.7	21.3	22.0	12.1	15.6	4.3	2.1	1.4
	大山崎町	(n=139)	61.9	51.1	35.3	43.2	38.1	36.7	23.7	21.6	21.6	23.0	12.9	0.7	4.3	2.2

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○学研都市について市町別にみると（図表 IV-2-2-2-7）、男性では京田辺市で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」に並んで「一時預かりの実施」が、木津川市と精華町で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

○女性では、京田辺市と木津川市で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、精華町で「一時預かりの実施」に並んで「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、それぞれ最も多い。

図表 IV-2-2-2-7 充実を希望する子育て支援サービス（学研都市・市町別）

(%)

		の子どもを遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	病児保育・病後児保育サービスの充実	子育て支援に関する情報提供	育児の不安や悩みの相談窓口	親の育児の疲れやプレッシャーの軽減	初産を控える人対象の講座や育児体験	地域のサークル活動等の支援	子どもの学習や幼児教育のプログラム	子どもの健康等に関する子育て勉強会	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特になし	無回答
学研都市全体	(n=730)	58.6	50.5	37.0	36.8	33.9	29.8	23.7	21.7	18.8	17.5	12.1	3.2	5.2	2.8
学研都市（計）	(n=278)	56.8	46.5	36.1	33.4	34.7	30.1	23.1	21.5	17.8	18.6	15.6	3.0	6.7	1.8
男性															
京田辺市	(n=112)	53.6	51.8	34.8	34.8	34.8	33.0	18.8	17.9	19.6	17.9	16.1	2.7	7.1	2.7
木津川市	(n=84)	59.5	42.9	40.5	31.0	36.9	25.0	26.2	22.6	15.5	17.9	15.5	3.6	4.8	1.2
精華町	(n=82)	58.5	41.5	29.3	35.4	29.3	34.1	26.8	28.0	18.3	22.0	14.6	2.4	9.8	1.2
女性															
学研都市（計）	(n=447)	60.0	53.2	37.8	38.7	33.5	29.9	24.0	21.9	19.1	17.0	9.9	3.4	4.2	3.4
京田辺市	(n=142)	59.2	48.6	38.0	36.6	30.3	28.9	22.5	24.6	16.9	14.1	9.9	5.6	6.3	2.1
木津川市	(n=141)	63.1	54.6	35.5	39.0	36.2	30.5	23.4	21.3	18.4	17.0	7.1	2.1	2.8	4.3
精華町	(n=164)	55.5	57.9	42.1	41.5	33.5	30.5	27.4	18.9	23.8	21.3	15.2	2.4	3.7	3.7

【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市府）（2014 年）】

○相楽東部について町村別にみると（図表 IV-2-2-2-8）、男性では笠置町（回答者が少ないため参考値）と和束町で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が、南山城村で「育児の不安や悩みの相談窓口」が、それぞれ最も多い。

○女性では笠置町（回答者が少ないため参考値）で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」と「一時預かりの実施」が、和束町と南山城村で「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。

図表 IV-2-2-2-8 充実を希望する子育て支援サービス（相楽東部・町村別）

		(%)													
		子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	子育て支援に関する情報提供	病児保育・病後児保育サービスの実施	親のフレッシュアップの場や機会の提供	地域のサークル活動等の支援	初産を控える人対象の講座や育児体験	子どもの健康等に関する子育て勉強会	子どもの学習や幼児教育のプログラム	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特になし	無回答
相楽東部全体 (n=394)		53.4	45.2	40.8	34.4	31.8	28.5	25.2	24.1	22.8	19.4	11.2	3.1	6.5	2.5
男性	相楽東部(計) (n=156)	50.7	40.0	42.2	30.4	25.6	23.0	23.8	21.9	20.6	21.7	11.7	3.7	7.9	2.2
	笠置町 (n=28)	60.7	46.4	46.4	42.9	28.6	32.1	28.6	14.3	21.4	21.4	7.1	7.1	—	—
	和束町 (n=67)	55.2	38.8	37.3	26.9	29.9	19.4	22.4	22.4	17.9	26.9	9.0	4.5	9.0	1.5
	南山城村 (n=61)	36.1	37.7	47.5	27.9	16.4	23.0	23.0	26.2	24.6	13.1	19.7	—	11.5	4.9
女性	相楽東部(計) (n=230)	55.6	49.7	40.2	37.0	36.3	32.1	26.2	26.5	25.1	17.7	11.3	2.8	4.8	2.4
	笠置町 (n=39)	56.4	56.4	38.5	41.0	41.0	30.8	23.1	28.2	30.8	20.5	10.3	2.6	2.6	—
	和束町 (n=99)	53.5	44.4	41.4	37.4	35.4	34.3	31.3	29.3	24.2	16.2	15.2	2.0	4.0	4.0
	南山城村 (n=92)	58.7	54.3	39.1	33.7	34.8	29.3	19.6	20.7	22.8	18.5	5.4	4.3	7.6	1.1

【20～44 歳、「京都市少子化要因実態調査・京都市民意識調査」（京都市）（2014 年）】

○山城北について市町別にみると（図表 IV-2-2-2-9）、男性はいずれの地域でも「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。井手町では「子育て支援に関する情報提供」も並んで多い。

○女性は、井手町以外では「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が最も多い。八幡市では「一時預かりの実施」も並んで多い。井手町では「一時預かりの実施」が最も多い。

図表 IV-2-2-2-9 充実を希望する子育て支援サービス（山城北・市町別）

																(%)
		子どもの遊ばせる場や機会の提供	一時預かりの実施	育児の不安や悩みの相談窓口	病児保育・病後児保育サービスの実施	子育て支援に関する情報提供	親のフレッシュの場や機会の提供	初産を控える人対象の講座や育児体験	地域のサークル活動等の支援	子どもの健康等に関する子育て勉強会	子どもの学習や幼児教育のプログラム	父親を対象とした育児講習・育児相談	その他	特にない	無回答	
山城北全体		(n=1,175)	60.0	43.8	40.6	40.2	37.5	31.6	24.0	19.2	19.0	18.9	15.5	3.9	5.2	3.5
男性	山城北(計)	(n=477)	58.6	32.3	37.0	34.3	33.9	29.7	25.8	21.3	21.2	18.6	16.3	4.8	6.0	4.8
	宇治市	(n=89)	61.8	32.6	36.0	38.2	30.3	30.3	23.6	21.3	20.2	18.0	14.6	5.6	4.5	5.6
	城陽市	(n=86)	48.8	31.4	34.9	32.6	32.6	23.3	27.9	14.0	19.8	17.4	16.3	5.8	8.1	5.8
	八幡市	(n=71)	60.6	33.8	42.3	29.6	43.7	35.2	28.2	26.8	25.4	19.7	19.7	2.8	5.6	1.4
	久御山町	(n=65)	67.7	30.8	43.1	21.5	43.1	27.7	30.8	29.2	20.0	23.1	21.5	3.1	6.2	3.1
	井手町	(n=82)	37.8	28.0	31.7	28.0	35.4	26.8	23.2	23.2	26.8	18.3	22.0	15.9	7.3	7.3
	宇治田原町	(n=84)	56.0	29.8	32.1	29.8	27.4	31.0	32.1	20.2	17.9	23.8	13.1	2.4	13.1	7.1
女性	山城北(計)	(n=689)	61.0	51.5	42.9	44.0	40.0	33.0	22.9	17.9	17.6	19.2	14.9	3.1	4.5	2.6
	宇治市	(n=128)	64.8	50.8	46.1	43.8	37.5	36.7	23.4	17.2	18.0	16.4	14.8	3.1	4.7	3.1
	城陽市	(n=132)	57.6	48.5	45.5	41.7	47.7	25.0	23.5	17.4	21.2	18.9	15.2	0.8	2.3	0.8
	八幡市	(n=105)	57.1	56.2	34.3	47.6	38.1	31.4	20.0	20.0	13.3	26.7	15.2	5.7	5.7	2.9
	久御山町	(n=121)	54.5	50.4	33.1	35.5	43.0	33.1	19.8	15.7	13.2	19.0	12.4	2.5	8.3	2.5
	井手町	(n=94)	55.3	58.5	41.5	55.3	39.4	29.8	31.9	24.5	16.0	22.3	20.2	1.1	2.1	4.3
	宇治田原町	(n=109)	56.9	53.2	43.1	50.5	36.7	37.6	28.4	22.0	24.8	18.3	13.8	3.7	3.7	1.8

【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

③ 働き方

○府内の地域別に現在の勤務状況をみると（図表 IV-2-2-3-1）、男性はいずれの地域でも「有給休暇が取りにくい」が最も多い。京都市、学研都市、山城北では「残業時間が長い」も並んで多くなっている。

○女性は、京都市、丹後、中丹、南丹、相楽東部、山城北で「有給休暇が取りにくい」が最も多い。乙訓では、「有給休暇が取りにくい」が、「在宅勤務制度がない」と並んで多い。学研都市では「在宅勤務制度がない」が、最も多くなっている。

図表 IV-2-2-3-1 現在の勤務状況（地域別）

														(%)
		に 有給 休暇 が 取り にくい	残 業 時 間 が 長い	在宅 勤務 制 度 が ない	フレ ック ス ス タ イ ム 制 度 が 使 え ない	休 日 出 勤 が 多い	通 勤 時 間 が 長い	夜 勤 な ど が あ る 、 多 い	単 身 赴 任 を す る こ と が あ る	出 張 が 多 い	転 勤 が 多 い	ま い ず れ も あ て は ない	無 回 答	
京都府全体 (n=5,839)		31.0	24.0	22.0	19.3	14.5	13.0	11.6	4.3	4.2	4.2	32.2	3.6	
男性	京 都 市 (n=746)	36.8	34.9	27.1	23.0	18.2	14.9	14.2	9.0	8.3	5.8	23.2	2.6	
	丹 後 (n=346)	37.2	21.5	12.9	14.9	18.6	9.8	21.6	4.1	4.4	3.1	28.9	1.6	
	中 丹 (n=247)	40.9	29.9	20.2	22.8	25.3	7.9	23.3	11.2	7.0	12.0	15.7	4.0	
	南 丹 (n=218)	40.2	32.7	23.7	24.4	24.2	18.7	16.6	4.2	6.0	4.8	21.5	1.4	
	乙 訓 (n=217)	41.5	33.2	25.6	23.5	16.3	9.8	15.0	9.9	9.3	7.9	22.2	2.8	
	学 研 都 市 (n=245)	33.7	32.3	24.4	20.9	19.2	22.6	17.9	10.1	10.4	4.9	17.0	3.9	
	相 楽 東 部 (n=138)	24.6	20.6	15.6	11.4	19.3	12.8	15.0	4.5	6.7	4.2	39.0	4.2	
	山 城 北 (n=407)	37.9	36.4	23.7	21.4	18.9	13.6	19.7	6.3	7.8	6.4	19.5	2.6	
女性	京 都 市 (n=1,035)	25.8	17.2	21.0	17.7	11.2	11.6	8.3	1.6	1.3	3.0	39.0	4.6	
	丹 後 (n=381)	29.7	16.4	10.9	9.6	10.7	6.9	8.1	0.2	1.6	2.2	43.1	5.2	
	中 丹 (n=289)	34.8	15.7	13.1	15.3	13.1	8.6	9.1	0.8	0.8	1.4	39.9	3.8	
	南 丹 (n=282)	24.4	20.2	14.9	15.3	12.0	13.6	11.1	1.1	0.2	-	40.8	4.9	
	乙 訓 (n=311)	23.3	18.0	23.8	19.8	9.3	14.3	6.6	0.6	1.8	3.0	42.0	3.1	
	学 研 都 市 (n=313)	18.0	14.3	23.6	14.4	7.8	16.2	4.5	1.6	2.2	3.1	41.3	4.9	
	相 楽 東 部 (n=178)	27.5	13.6	11.8	11.0	11.5	20.5	6.7	-	2.4	1.3	41.2	3.1	
	山 城 北 (n=520)	28.1	15.4	19.9	17.4	11.1	11.5	6.7	0.1	1.2	2.1	42.6	3.2	

【20～44 歳有職者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

- 府内の地域別に現在の職種をみると（図表 IV-2-2-3-2）、男性は京都市と乙訓で「専門職」と「生産工程・労務職」が、丹後、南丹、山城北、学研都市で「生産工程・労務職」が、中丹で「生産工程・労務職」に次いで「保安職」が、それぞれ多い。相楽東部でも「生産工程・労務職」が最も多いが、次いで「農林漁業」が多くなっている。
- 女性は、いずれの地域も「専門職」と「事務職」が多い。

図表 IV-2-2-3-2 現在の職種（地域別）

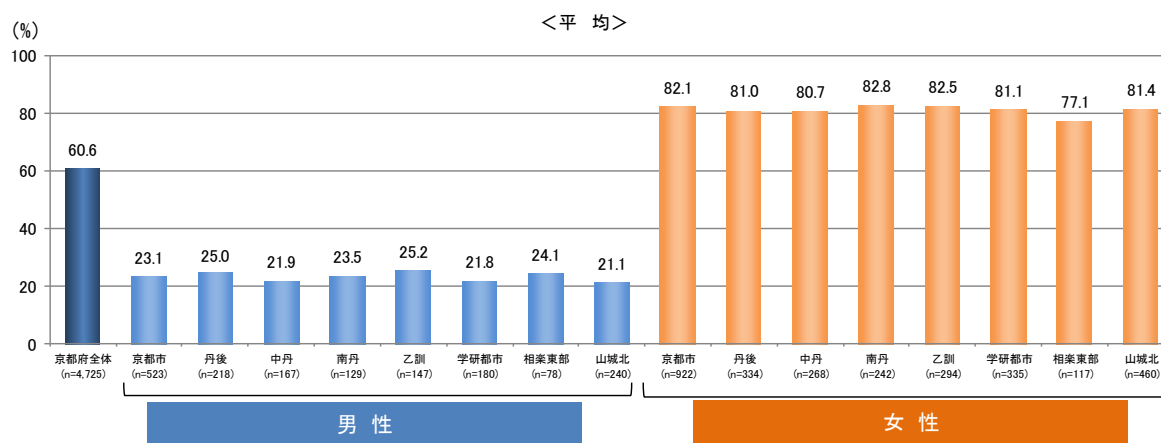
		(%)												
		木職、造園師など	農林漁業、畜産、林業、漁業、植	生産工程・労務職、大工、建築作業員、清掃員、トラック運転手など	グ（料理人、理容師、接客、タクシー運転手、ヘルパーなど）	サービス職（警衛官、自衛官、守衛など）	保安職、自衛官、守衛など	販売職（小売店主、販売店員、営業員、外交員など）	営業事務・企画事務、経理事務、（総務・校正など）	事務職（会社役員、課長以上の管理職、駅社員など）	管理職（会社役員、課長以上の管理職、駅社員など）	専門職（医師、会計士、教員、看護師、保育士、社会福祉士など）	その他	無回答
男性	京都府全体	(n=5,983)	0.9	15.2	15.8	2.2	12.7	22.1	3.0	24.8	0.8	2.6		
	京都市	(n=746)	1.2	21.2	15.2	2.9	13.9	11.9	7.5	23.3	1.1	1.7		
	丹後	(n=346)	4.1	33.6	12.5	5.9	9.3	12.4	2.0	17.8	1.1	1.2		
	中丹	(n=247)	2.2	30.1	7.3	16.0	7.9	13.7	4.1	13.6	2.1	3.1		
	南丹	(n=218)	3.0	31.8	12.6	2.1	10.3	15.6	4.5	17.5	1.7	0.9		
	乙訓	(n=217)	-	23.1	12.4	1.0	16.9	13.7	6.1	24.7	0.1	1.9		
	学研都市	(n=245)	0.5	26.6	8.8	4.4	11.4	17.6	5.7	22.1	1.4	1.5		
	相楽東部	(n=138)	16.9	29.5	13.8	4.2	8.1	9.8	2.6	11.2	2.3	1.7		
	山城北	(n=407)	0.3	23.8	15.4	6.1	15.3	13.6	3.3	17.8	1.2	2.9		
	京都市	(n=1,035)	0.2	6.4	18.6	0.3	13.0	29.2	0.7	27.2	0.7	3.7		
女性	丹後	(n=381)	1.5	12.6	19.6	0.2	10.1	21.4	1.3	28.5	1.4	3.6		
	中丹	(n=289)	1.4	15.5	14.3	1.4	10.3	23.8	0.4	29.2	0.4	3.1		
	南丹	(n=282)	1.1	10.1	19.9	0.3	12.9	24.2	0.2	27.1	0.9	3.3		
	乙訓	(n=311)	0.5	8.3	14.7	0.1	8.6	35.9	1.2	28.7	0.6	1.3		
	学研都市	(n=313)	0.4	7.4	14.4	0.4	13.1	31.8	0.2	29.1	-	3.3		
	相楽東部	(n=178)	4.3	5.8	17.3	-	11.9	28.9	0.4	28.3	0.7	2.4		
	山城北	(n=520)	0.8	11.5	15.7	-	12.2	30.4	1.2	26.9	0.1	1.1		

【20～44 歳有職者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

④ 家事及び育児の分担

○地域別に既婚者の家事分担をみると（図表 IV-2-2-4-1）、いずれの地域でも男性は 2 割前半から 2 割台半ば、女性は 8 割前後で、大きな差はみられない。

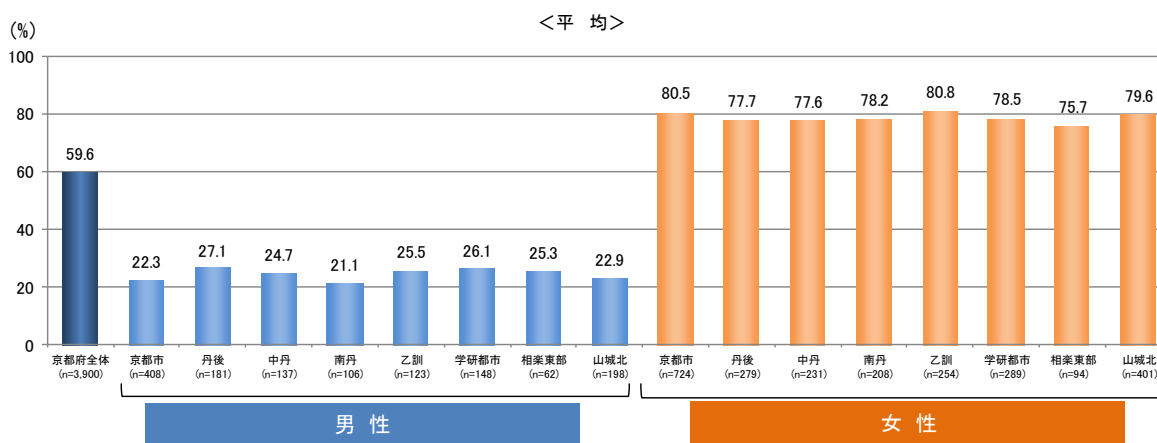
図表 IV-2-2-4-1 結婚相手との育児以外の家事分担（地域別）



【20～44 歳既婚者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○地域別に子どものいる人の育児分担をみると（図表 IV-2-2-4-2）、家事分担と同様に、いずれの地域でも男性は 2 割前半から 2 割台半ば、女性は 7 割台後半から 8 割で、大きな差はみられない。

図表 IV-2-2-4-2 配偶者（パートナー）との育児分担（地域別）



【20～44 歳子どものいる男女、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

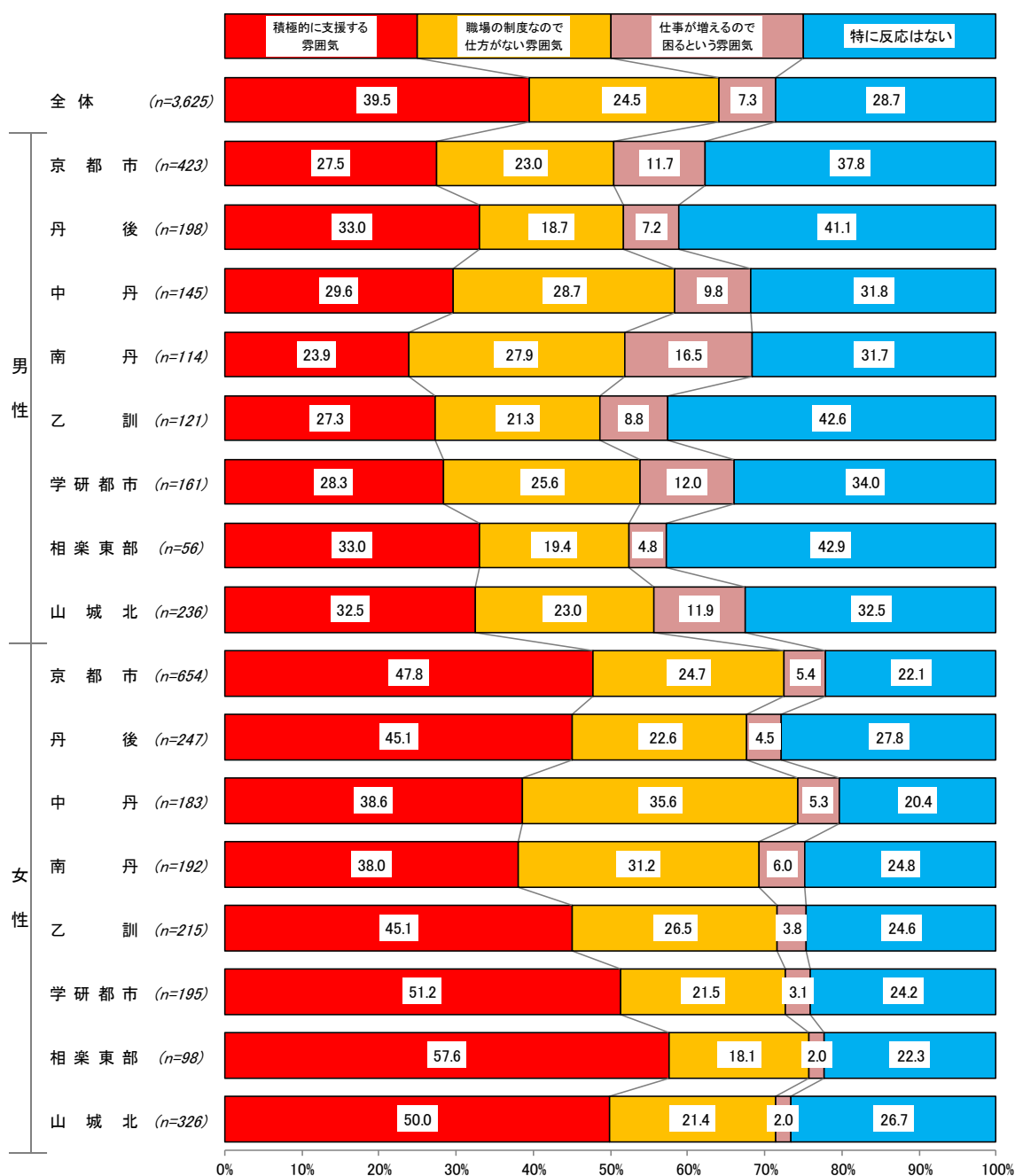
⑤ 育児支援制度利用と職場環境

○府内の地域別に「育児休業制度」取得者への職場の雰囲気を見ると（図表 IV-2-2-5-1）、いずれの地域でも男性より女性で「積極的に支援する雰囲気」という回答が多い。

○男性では、「積極的に支援する雰囲気」という回答に、地域による大きな差はみられない。

○女性では、「積極的に支援する雰囲気」という回答は、相楽東部で他の地域よりもやや多い。

図表 IV-2-2-5-1 職場の雰囲気：育児休業制度（地域別）



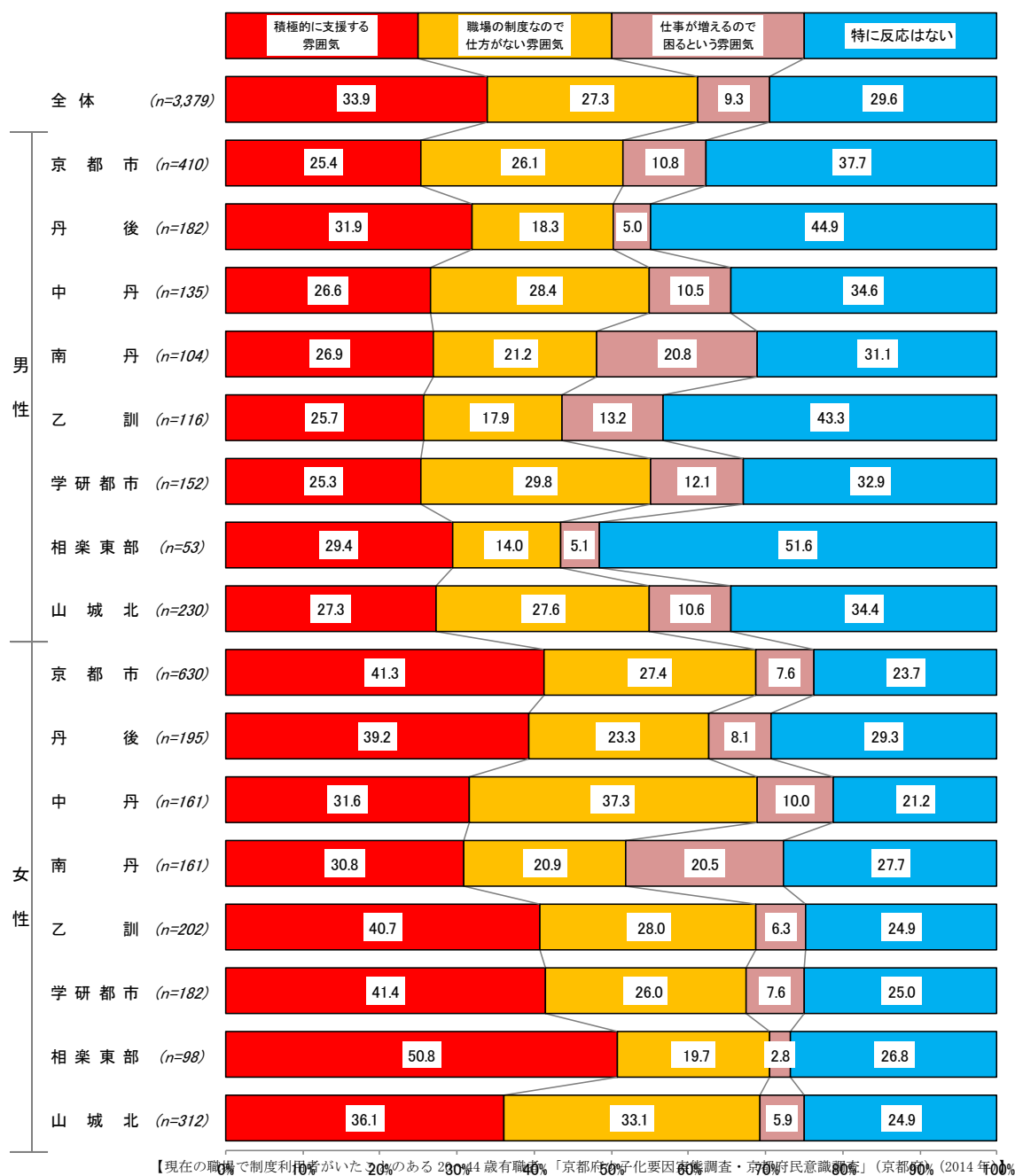
【現在の職場で制度利用者がいたことのある 20～44 歳有職者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○府内の地域別に「育児のための短時間勤務制度」取得者への職場の雰囲気をみると（図表 IV-2-2-5-2）、育児休業と同様いずれの地域でも、男性より女性で「積極的に支援する雰囲気」という回答が多い。

○男性では、「積極的に支援する雰囲気」という回答に、地域による大きな差はみられない。

○女性では、「積極的に支援する雰囲気」という回答は、相楽東部で他の地域よりもやや多い。

図表 IV-2-2-5-2 職場の雰囲気：育児のための短時間勤務制度（地域別）



(3) 住みたいまちづくり

① 定住意向

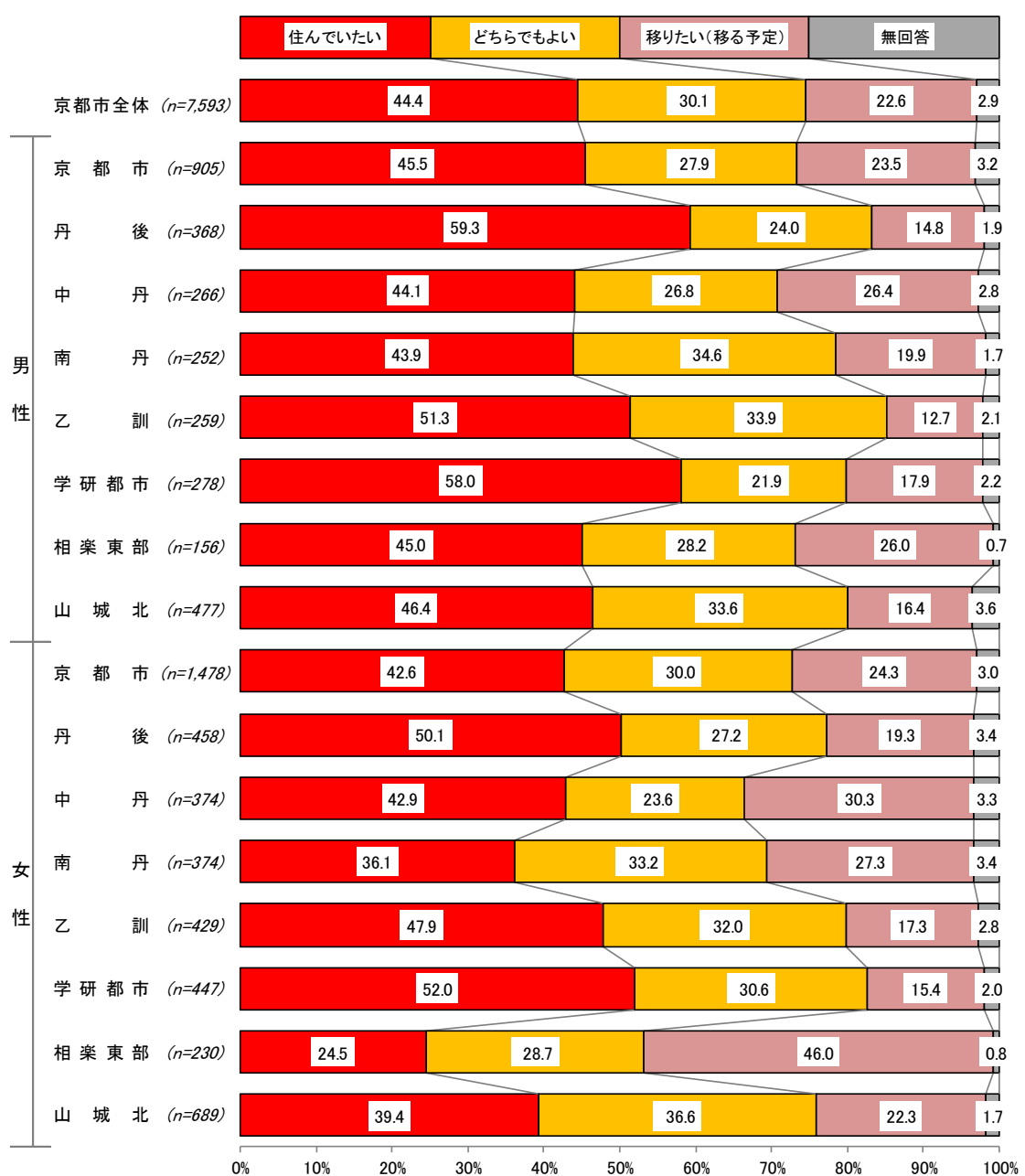
○府内の地域別に定住意向をみると（図表 IV-2-3-1-1）、男性では丹後と学研都市で「住んでいたい」という回答が 6 割弱と他の地域よりも強い。

○女性でも、丹後と学研都市で 5 割を超え、やや強い。

○いずれの地域でも、男性より女性で定住意向が弱い傾向にある。

○相楽東部は女性の定住意向が 24.5%と弱い。男性は 45.0%であることから、男女の差が大きくなっている。

図表 IV-2-3-1-1 定住意向（地域別）



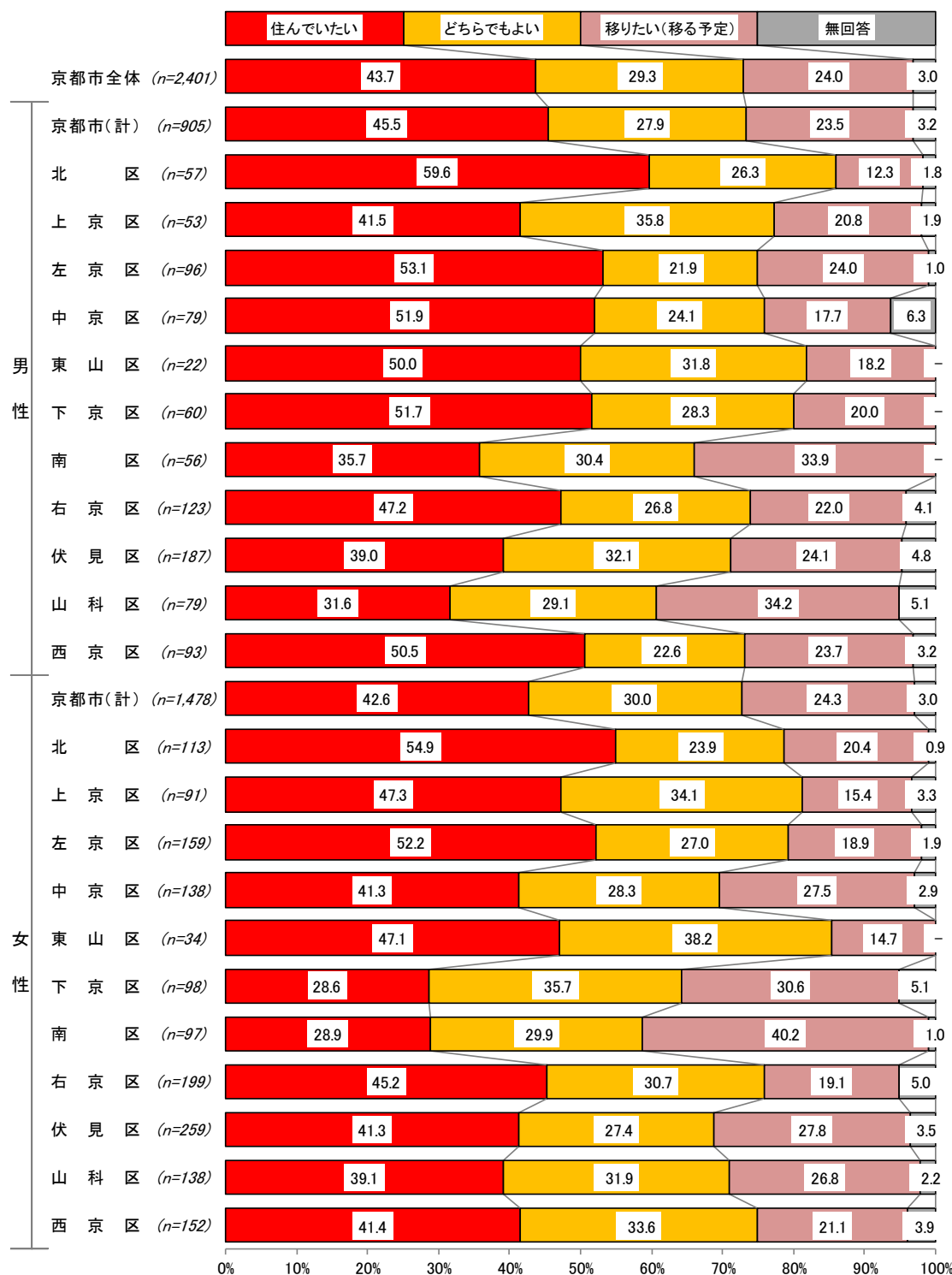
【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○京都市内の区別に定住意向をみると（図表 IV-2-3-1-2）、男性では北区の定住意向が 6 割と強い。

○女性では、北区と左京区で 5 割を超え、やや強い。

○上京区、伏見区、山科区では女性の方が男性よりも定住意向がやや強い。それ以外の区では、男性より女性で定住意向は弱い傾向にある。

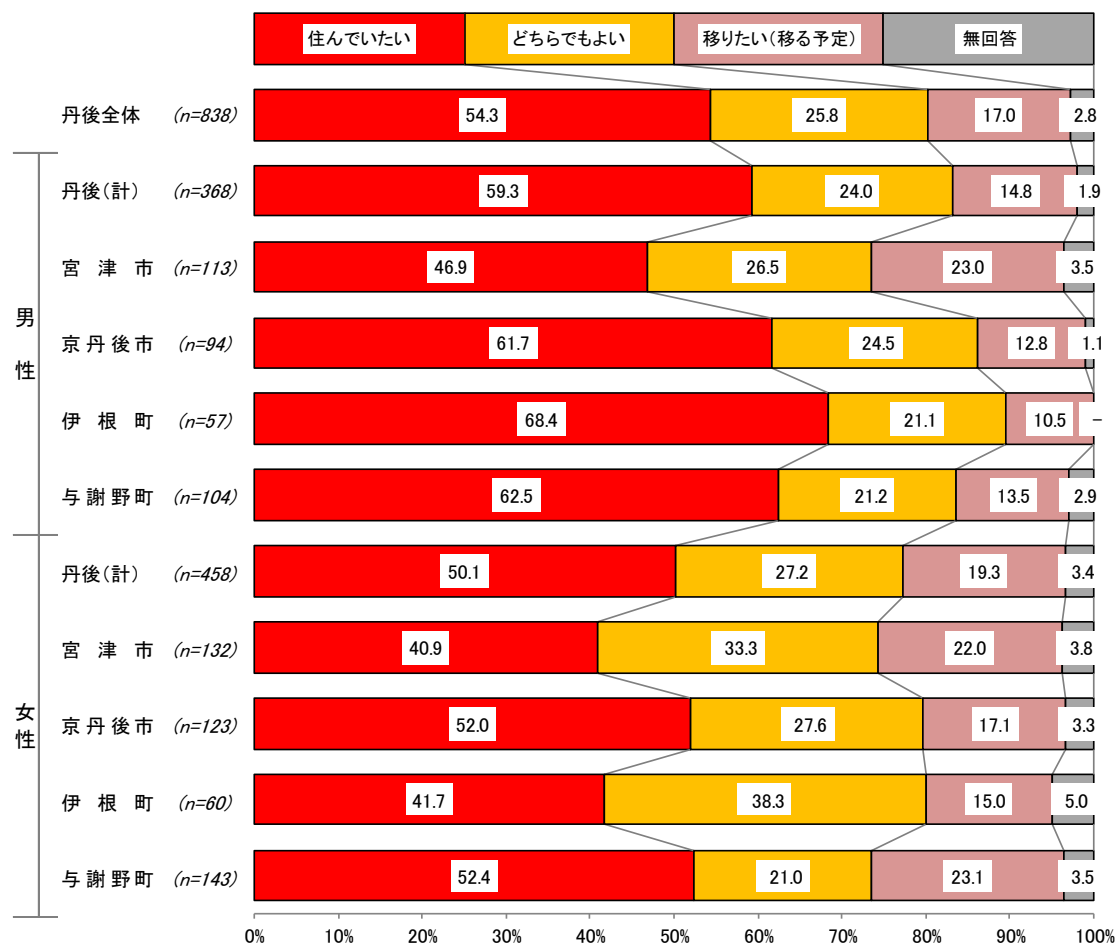
図表 IV-2-3-1-2 定住意向（京都市・区別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

- 丹後の定住意向を市町別にみると（図表 IV2-3-1-3）、京丹後市、伊根町、与謝野町で男性の定住意向が 6 割を超え、強い。
- 女性では、京丹後市と与謝野町で 5 割を超え、強い。
- いずれの市町でも男性より女性の方が、定住意向は弱い傾向にある。

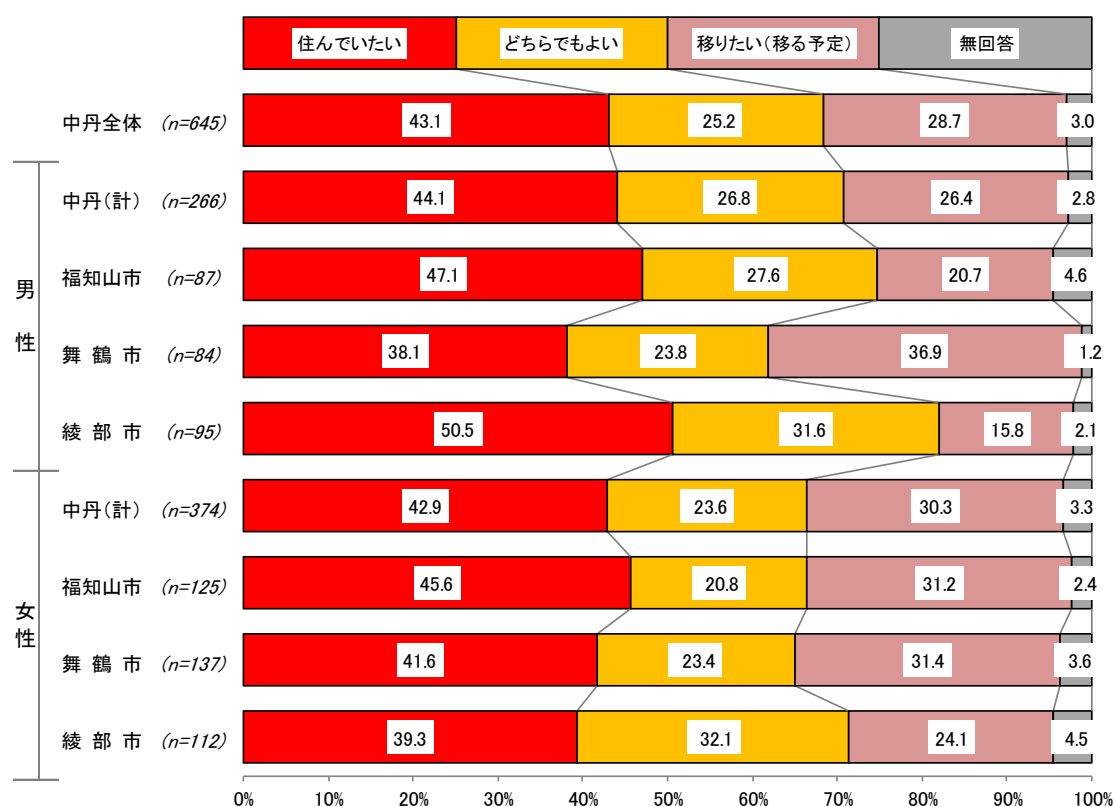
図表 IV-2-3-1-3 定住意向（丹後・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

- 中丹の定住意向を市別にみると（図表 IV-2-3-1-4）、男性は福知山市と綾部市の定住意向が4割台後半から5割と、比較的強い。
- 女性では、大きな差はみられない。
- 男性より女性の方が定住意向は弱い傾向だが、舞鶴市では女性の方がやや強くなっている。

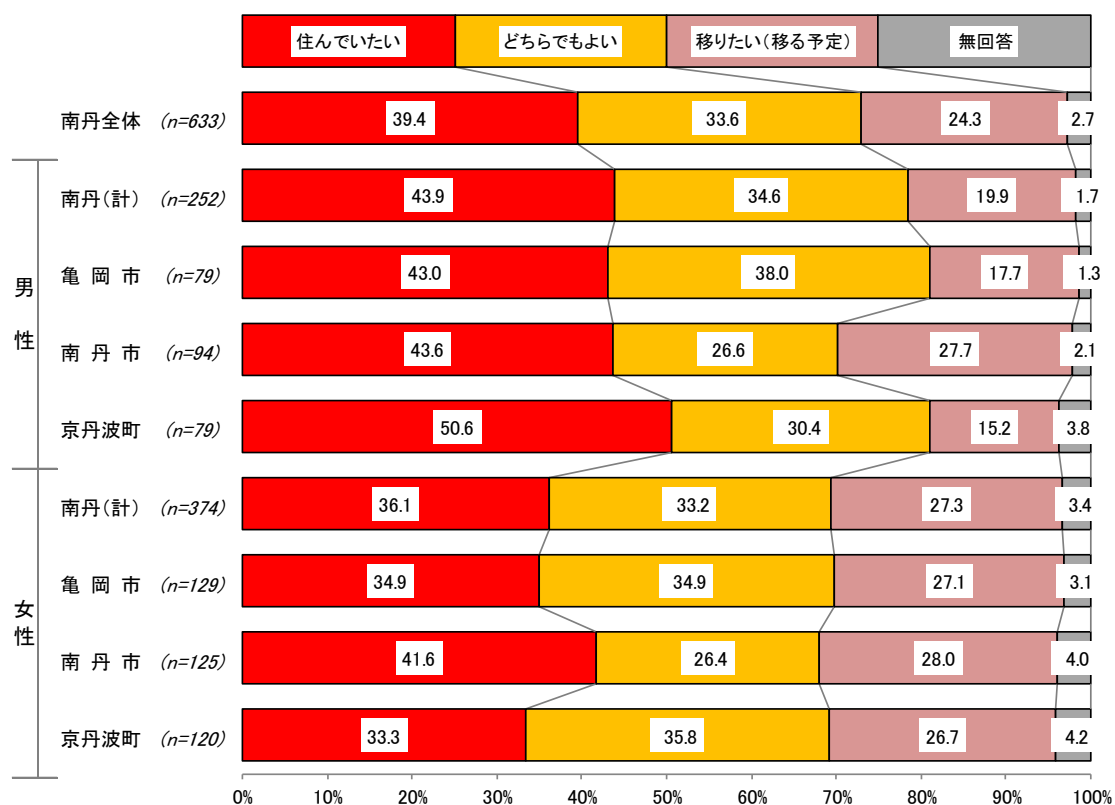
図表 IV-2-3-1-4 定住意向（中丹・市別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

- 南丹の定住意向を市町別にみると（図表 IV-2-3-1-5）、京丹波町の男性でおよそ 5 割とやや強い。
- 女性では、大きな差はみられないが、南丹市で 4 割強とやや強めである。
- いずれの市町でも、男性より女性の方が定住意向は弱い傾向にあり、特に京丹波町では男女の差が大きい。

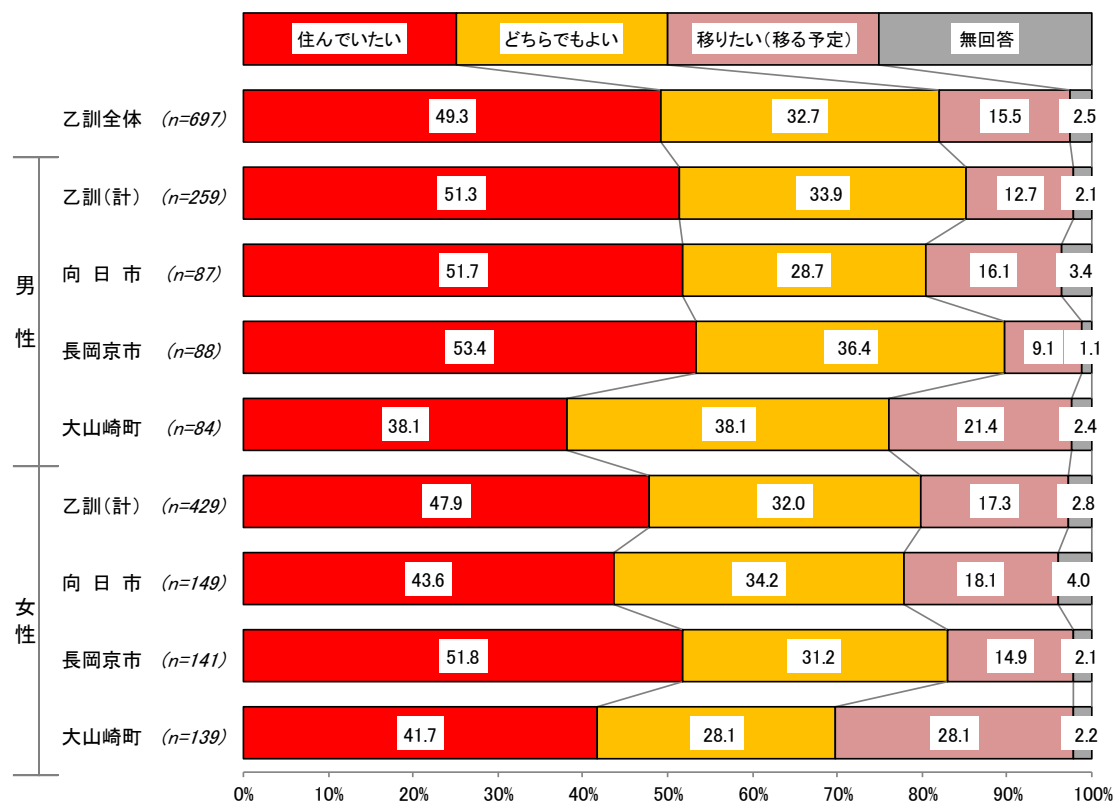
図表 IV-2-3-1-5 定住意向（南丹・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

- 乙訓の定住意向を市町別にみると（図表 IV-2-3-1-6）、男性は向日市と長岡京市の定住意向が 5 割強と、やや強い。
- 男性より女性の方が定住意向は弱い傾向だが、大山崎町では女性の方がやや強くなっている。

図表 IV-2-3-1-6 定住意向（乙訓・市町別）

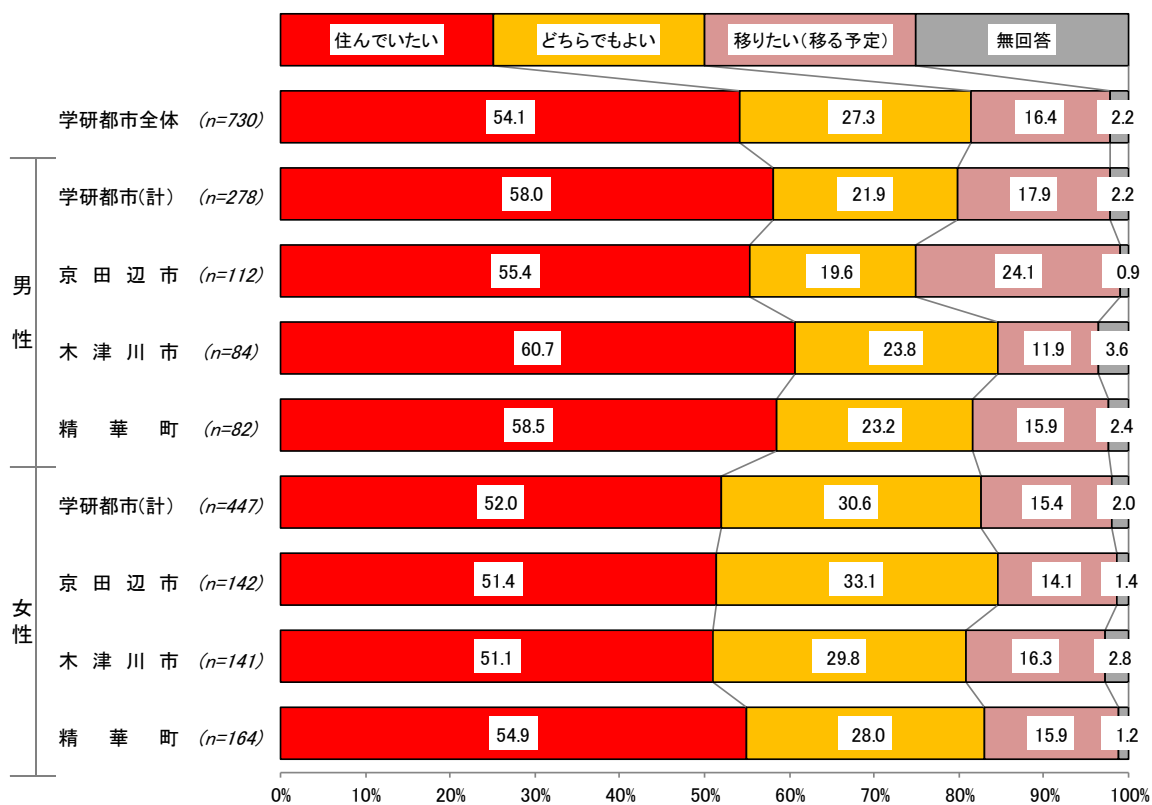


【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○学研都市の定住意向を市町別にみると（図表 IV2-3-1-7）、いずれの市町も、男女とも5割を超えて強い。

○女性より男性の方が、定住意向は強い傾向。

図表 IV-2-3-1-7 定住意向（学研都市・市町別）

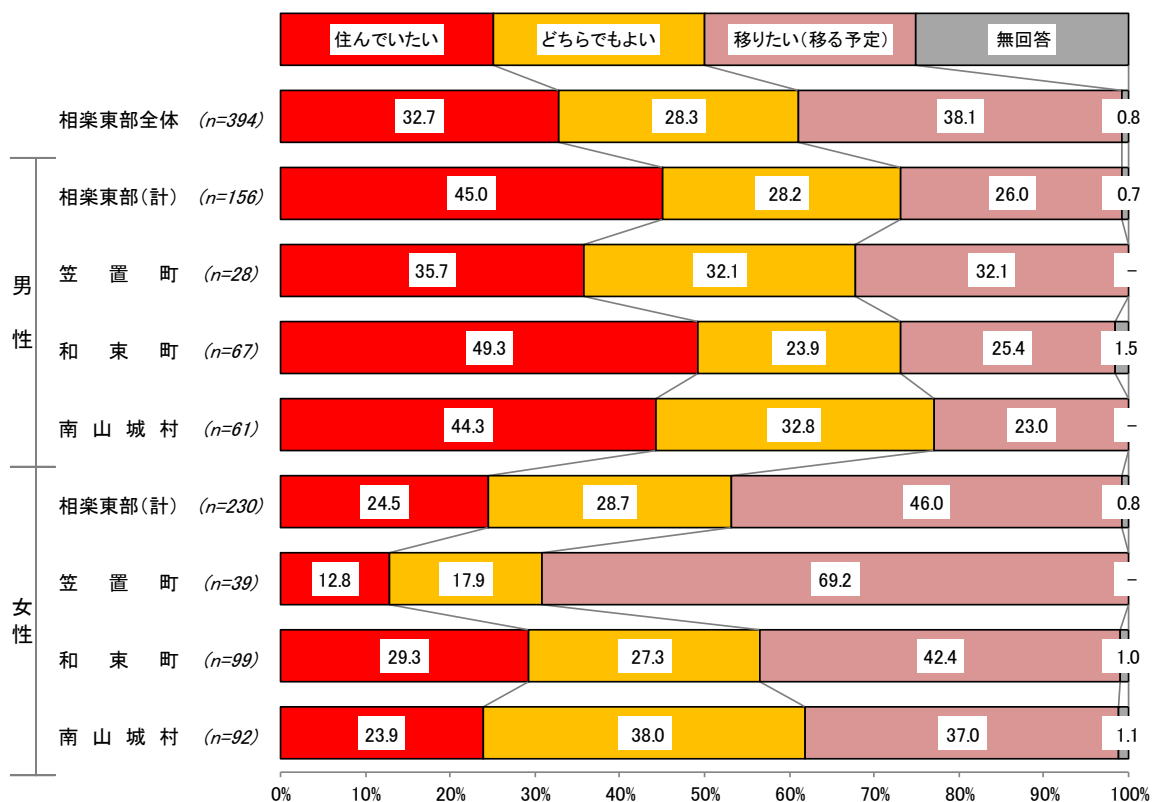


【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市）（2014 年）】

○相楽東部の定住意向を町村別にみると（図表 IV-2-3-1-8）、男性は和束町、南山城村では 4 割台半ばからおよそ 5 割と、比較的強い。笠置町（回答者が少ないため参考値）は、およそ 3 分の 1 に定住意向がある。

○一方、女性はいずれの町村も 3 割未満と定住意向が弱い。

図表 IV-2-3-1-8 定住意向（相楽東部・町村別）

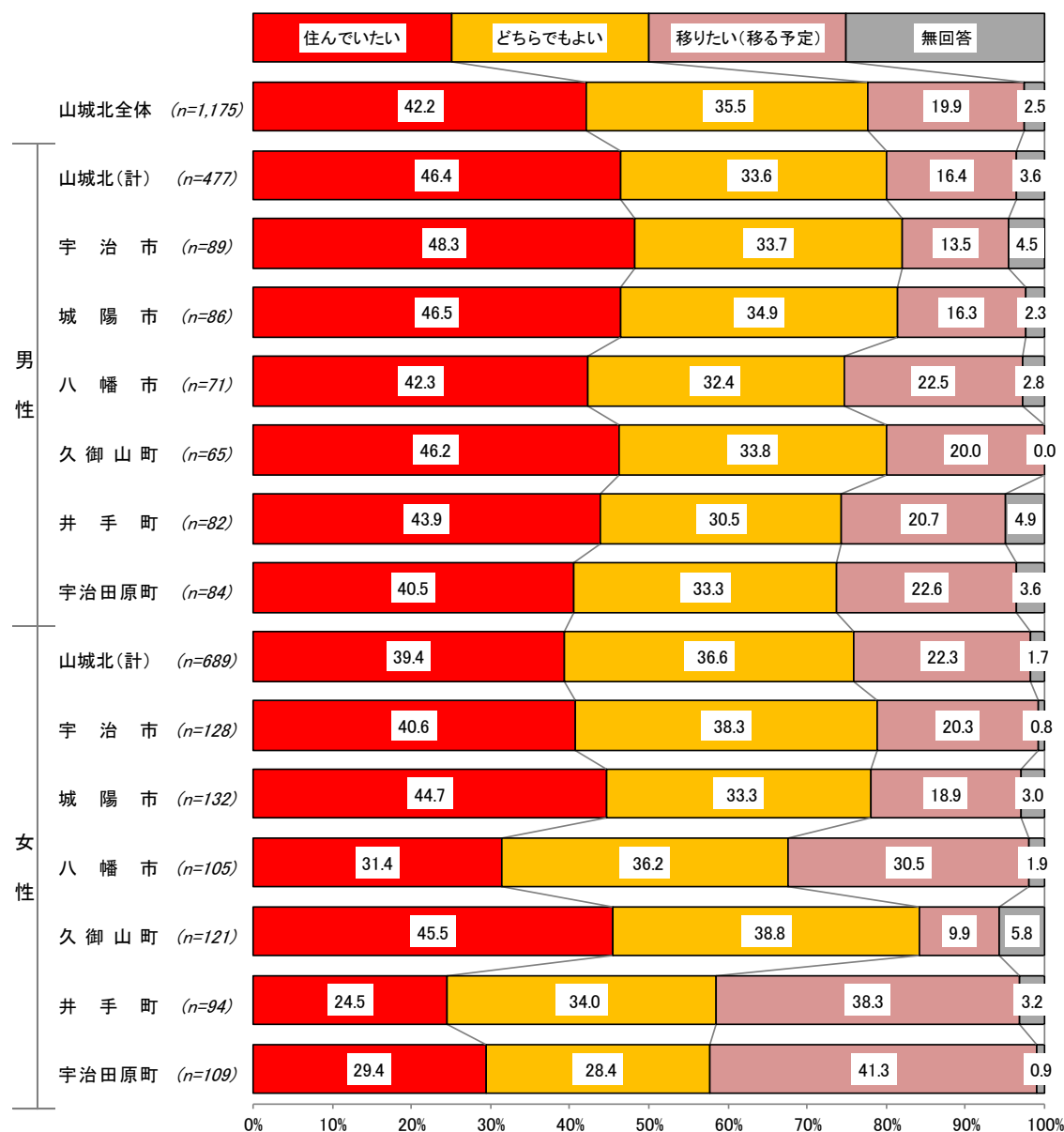


【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○山城北の定住意向を市町別にみると（図表 IV-2-3-1-9）、男性はいずれの市町も 4 割台と大きな差がみられない。

○一方、女性は宇治市、城陽市、久御山町は 4 割台、八幡市、井手町、宇治田原町は 2 割台半ばから 3 割強となっている。

図表 IV-2-3-1-9 定住意向（山城北・市町別）



【20～44 歳、「京都市少子化要因実態調査・京都市民意識調査」（京都市）（2014 年）】

② 転出意向理由

○府内の地域別に現居住地に定住意向のない理由をみると（図表 IV2-3-2-1）、京都市の男女、中丹の男性、乙訓の男女、山城北の男性では、「住宅事情」が多い。また、中丹の男性では「転勤」が、「住宅事情」に並んで多くあげられている。学研都市の男性と山城北の女性では「通勤通学の便」が、「住宅事情」に並んで多い。

○そのほか、丹後、南丹、相楽東部の男女では「通勤通学の便」が最も多い。特に相楽東部では男性の 5 割、女性の 6 割半ばが「通勤通学の便」をあげている。相楽東部は定住意向が弱く、通勤通学の利便性を高めることが重要となる。

○また、「通勤通学の便」に加えて、丹後の男性では「近所付き合いなど人間関係」、丹後の女性では「結婚」も並んであげられている。中丹の女性では「子どもの学習環境」がやや多くなっている。しかし、丹後・中丹の女性は、最も多い理由でも 2 割台以下であり、移動理由は分散している。

図表 IV-2-3-2-1 転出意向理由（地域別）

		住宅事情	通勤通学の便	結婚	豊かな自然環境	子どもの学習環境	就職	転勤	近所などとの付き合い関係	親と同居するた	転勤	家族の移動に伴って	親と同居するた	入学・進学	利用サービスの理由	健康上の理由	家業継承	離婚	その他	無回答
全 体 (n=4,007)		28.6	21.0	16.6	16.2	12.9	11.3	10.1	8.7	8.6	8.1	6.5	5.6	3.4	3.0	2.4	1.1	0.5	12.0	2.9
男 性	京 都 市 (n=463)	33.9	20.4	9.0	19.2	14.0	16.7	10.4	7.1	8.8	10.7	1.7	6.8	4.9	2.7	3.0	1.9	-	8.3	2.9
	丹 後 (n=145)	18.8	23.4	13.1	7.1	10.3	15.3	11.4	21.0	4.4	14.7	4.0	3.7	3.4	4.9	1.4	1.0	0.4	11.6	4.2
	中 丹 (n=138)	26.3	11.1	7.2	8.8	12.1	10.1	14.2	11.7	9.0	25.3	3.4	10.1	4.3	2.5	2.2	1.8	-	23.3	4.0
	南 丹 (n=131)	17.5	32.1	21.1	11.7	6.2	12.8	12.3	13.6	8.1	8.1	3.6	5.8	2.6	3.3	5.2	2.5	0.5	15.7	3.4
	乙 訓 (n=129)	36.9	21.2	15.6	13.4	12.8	9.4	15.9	2.4	6.3	16.9	2.0	5.7	2.2	4.6	2.2	0.2	-	9.2	3.6
	学 研 都 市 (n=111)	28.5	30.5	17.0	15.4	3.7	16.8	9.3	4.8	9.5	9.4	1.9	6.7	5.8	-	1.0	0.5	-	8.9	1.9
	相 楽 東 部 (n=85)	13.5	51.7	18.5	2.7	16.3	25.0	8.2	8.2	1.3	4.0	2.7	0.9	5.0	6.3	3.1	5.0	-	19.4	0.9
	山 城 北 (n=249)	32.6	31.4	17.7	14.4	12.9	15.7	12.9	5.1	8.5	10.8	5.4	3.2	3.2	3.3	2.0	1.8	-	11.1	1.2
	京 都 市 (n=802)	30.2	17.1	20.2	20.8	12.7	8.4	9.9	9.7	8.6	5.2	8.2	5.3	2.5	2.9	1.7	0.6	0.5	11.7	2.4
	丹 後 (n=223)	11.2	16.6	16.2	4.1	13.9	14.2	15.3	14.4	6.9	5.9	9.7	2.6	8.5	2.5	3.0	0.5	0.4	17.3	6.4
女 性	中 丹 (n=203)	15.9	11.9	14.2	8.4	19.6	5.7	13.4	12.3	10.3	12.2	13.7	4.5	3.3	1.2	4.1	-	1.7	20.0	4.7
	南 丹 (n=223)	22.0	32.6	19.6	9.7	8.3	16.9	8.1	11.7	10.5	5.2	5.3	6.4	1.8	4.8	2.8	1.2	0.1	15.1	0.4
	乙 訓 (n=221)	30.8	23.7	22.9	15.4	8.9	5.0	4.7	6.1	13.6	9.5	8.1	5.3	1.7	2.6	1.7	1.7	0.8	16.6	2.4
	学 研 都 市 (n=204)	18.2	23.9	15.9	8.5	11.1	10.0	8.1	4.9	13.8	6.9	9.9	3.5	2.2	2.3	2.7	1.9	0.8	14.9	4.0
	相 楽 東 部 (n=172)	8.8	65.0	23.5	5.6	16.7	17.2	4.9	10.6	1.3	3.8	1.6	2.2	4.2	5.6	5.7	1.6	-	13.6	1.3
	山 城 北 (n=417)	27.1	27.4	18.8	8.7	16.0	7.3	7.2	5.9	6.2	4.4	10.7	4.1	4.1	5.1	2.1	0.7	1.3	10.3	4.4

【20～44 歳移住意向者、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

③ 現居住地の満足度

○買い物など日常の生活環境”への満足度を地域別にみると（図表Ⅳ-2-3-3-1）、京都市居住者で、男性 81.2%、女性 82.3%と高くなっている。

○“自然環境”に対する満足度をみると、男女とも丹後（男性 86.7%、女性 85.7%）、南丹（同 81.8%、85.3%）、学研都市（同 81.0%、83.5%）では満足度が 8 割を上回っている。男性の相楽東部居住者も、86.2%が『満足』と回答している。

○“地域の人とのつきあい”についてみると、満足度が高いのは、男性では丹後（59.9%）と相楽東部（58.2%）の各居住者、女性では学研都市居住者（60.3%）と、男女差がみられる。

○“家賃などの住居費”への満足度は、地域による差が小さいが、男性では学研都市（41.1%）、乙訓（39.2%）、相楽東部（38.8%）、南丹（38.1%）、山城北（37.5%）の各居住者で、他の地域よりやや満足度が高い。一方、女性では、南丹（40.4%）と学研都市（39.7%）の居住者に、満足度がやや高くなっている。

○“住居の広さ”に対する満足度は、男女とも学研都市（男性 70.8%、女性 74.3%）と相楽東部（同 75.6%、70.9%）で、それぞれ満足度が 7 割を上回って高くなっている。

○有職者の“就労環境”に対する満足度は、女性の京都市居住者（42.5%）と学研都市（41.9%）が 4 割を上回り、他の地域よりやや高くなっている。

○子どものいる人の“保育サービス”に対する満足度は、男性では学研都市居住者（52.8%）で、女性では相楽東部居住者（52.1%）で、それぞれ 5 割を上回り、他の地域より高くなっている。

○“子どもの学習環境”に対する満足度は、男女とも学研都市居住者（男性 54.7%、女性 50.8%）で他の地域より高くなっている。

図表 Ⅳ-2-3-3-1 現居住地の満足度（地域別）

(%)

		a) 買い物など 日常の生活 環境	b) 自然環境	c) 地域の人と のつきあい	d) 家賃など の住居費	e) 住居の広さ	f) 就労環境	g) 保育 サービス	h) 子どもの 学習環境
男 性	京 都 市 (n=905)	81.2	55.7	40.7	31.0	48.1	38.7	39.5	43.0
	丹 後 (n=368)	45.4	86.7	59.9	35.7	63.4	28.4	38.0	32.1
	中 丹 (n=266)	50.3	73.1	48.2	31.8	50.5	33.0	39.7	31.3
	南 丹 (n=252)	58.6	81.8	50.8	38.1	62.9	28.4	49.3	41.8
	乙 訓 (n=259)	78.8	74.4	46.5	39.2	52.2	36.7	42.9	37.0
	学 研 都 市 (n=278)	66.4	81.0	46.5	41.1	70.8	29.7	52.8	54.7
	相 楽 東 部 (n=156)	14.2	86.2	58.2	38.8	75.6	20.9	39.6	32.8
	山 城 北 (n=477)	74.6	62.5	41.5	37.5	57.8	34.1	44.4	41.9
女 性	京 都 市 (n=1,478)	82.3	60.2	46.4	32.6	50.1	42.5	40.8	43.1
	丹 後 (n=458)	45.8	85.7	54.6	32.1	66.8	22.6	36.0	34.1
	中 丹 (n=374)	52.7	76.3	41.5	25.4	55.0	29.4	36.9	30.1
	南 丹 (n=374)	60.5	85.3	52.8	40.4	67.7	31.2	39.0	33.2
	乙 訓 (n=429)	78.7	76.7	54.9	33.2	50.1	39.8	39.9	45.9
	学 研 都 市 (n=447)	69.1	83.5	60.3	39.7	74.3	41.9	46.9	50.8
	相 楽 東 部 (n=230)	7.1	79.4	50.4	35.5	70.9	18.2	52.1	36.7
	山 城 北 (n=689)	77.7	70.5	53.9	36.1	60.3	37.6	43.5	35.0

【a）～e）：20～44 歳、f）：20～44 歳有職者、g）～h）：20～44 歳子どものいる者、

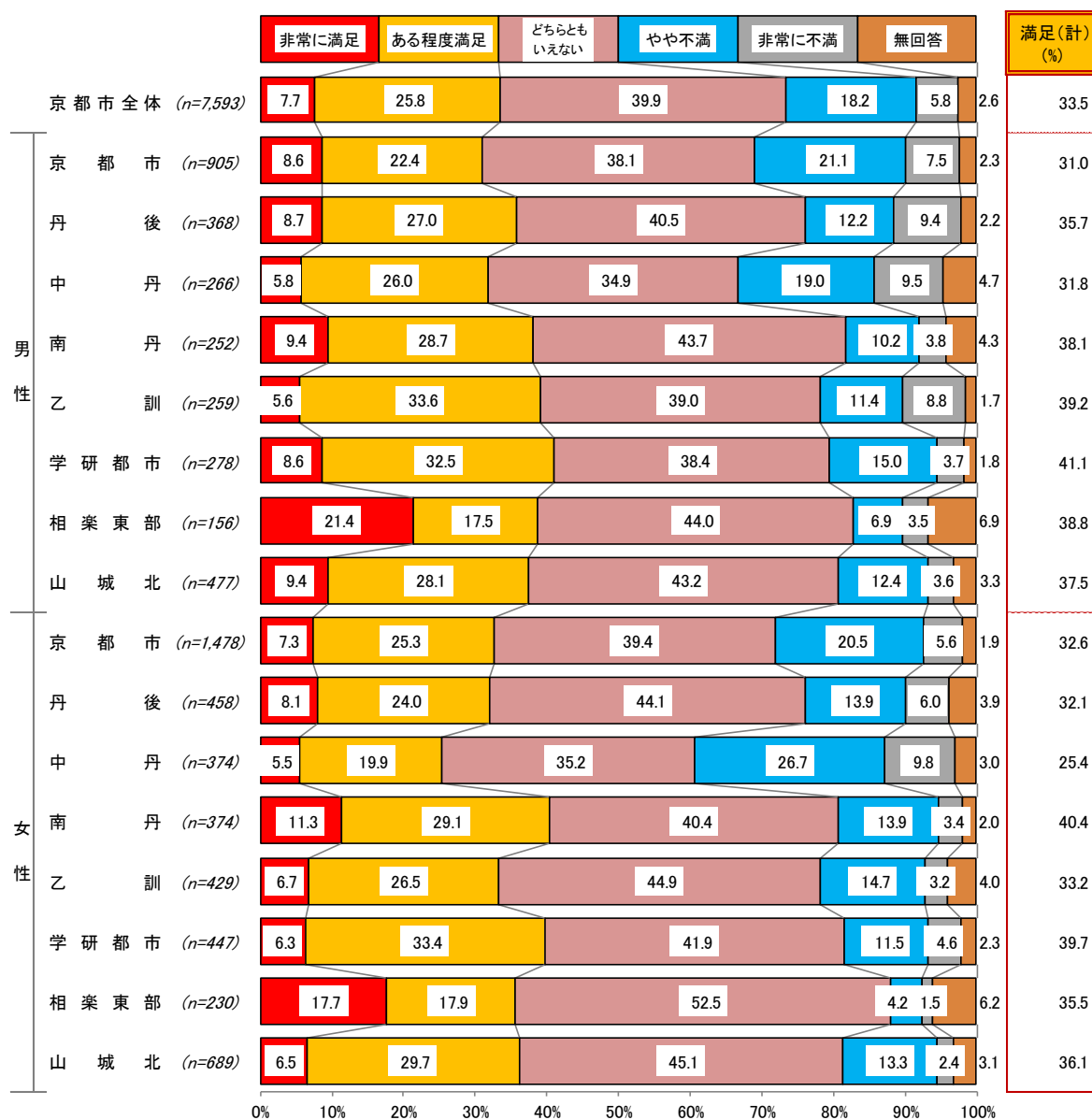
「京都市少子化要因実態調査・京都市民意識調査」（京都市）（2014 年）】

④ 住宅費・住居の広さの満足度

○府内の地域別に住居費の満足度をみると（図表 IV2-3-4-1）、相楽東部では男女とも「非常に満足」という回答が多い。

○『満足（計）』（「非常に満足」＋「やや満足」）をみると、乙訓の男性、南丹の女性、学研都市の男女で約４割と比較的高くなっている。

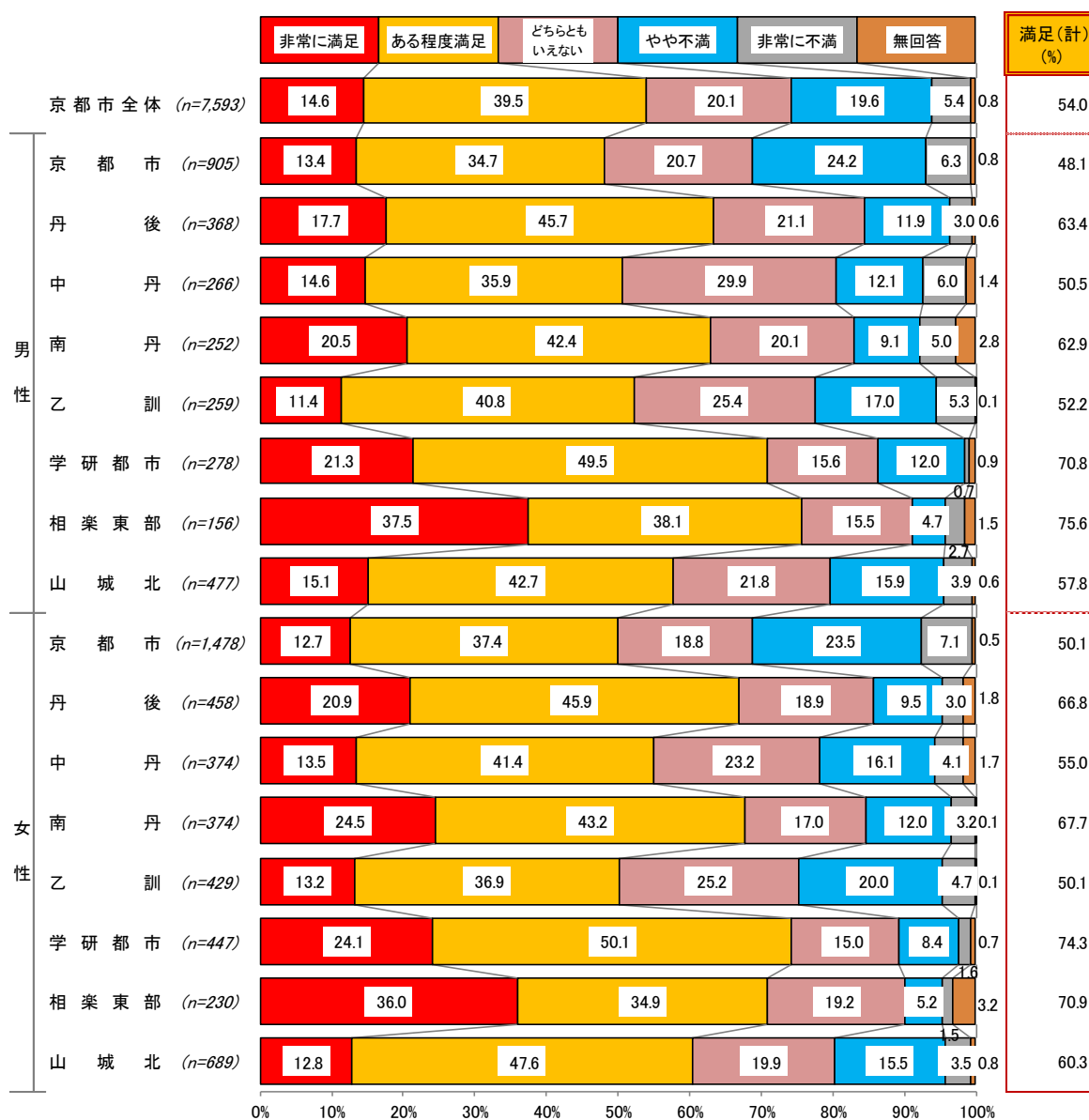
図表 IV-2-3-4-1 現居住地の満足度：家賃など住居費（地域別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

- 府内の地域別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV2-3-4-2）、相楽東部では男女とも「非常に満足」という回答が多い。
- 『満足（計）』（「非常に満足」＋「やや満足」）をみると、男女とも学研都市と相楽東部で7割を超え、高い。最も低いのは、男性では京都市、女性では京都市と乙訓である。
- 住居費よりも住居の広さで、満足度の地域差が大きいと考えられる。

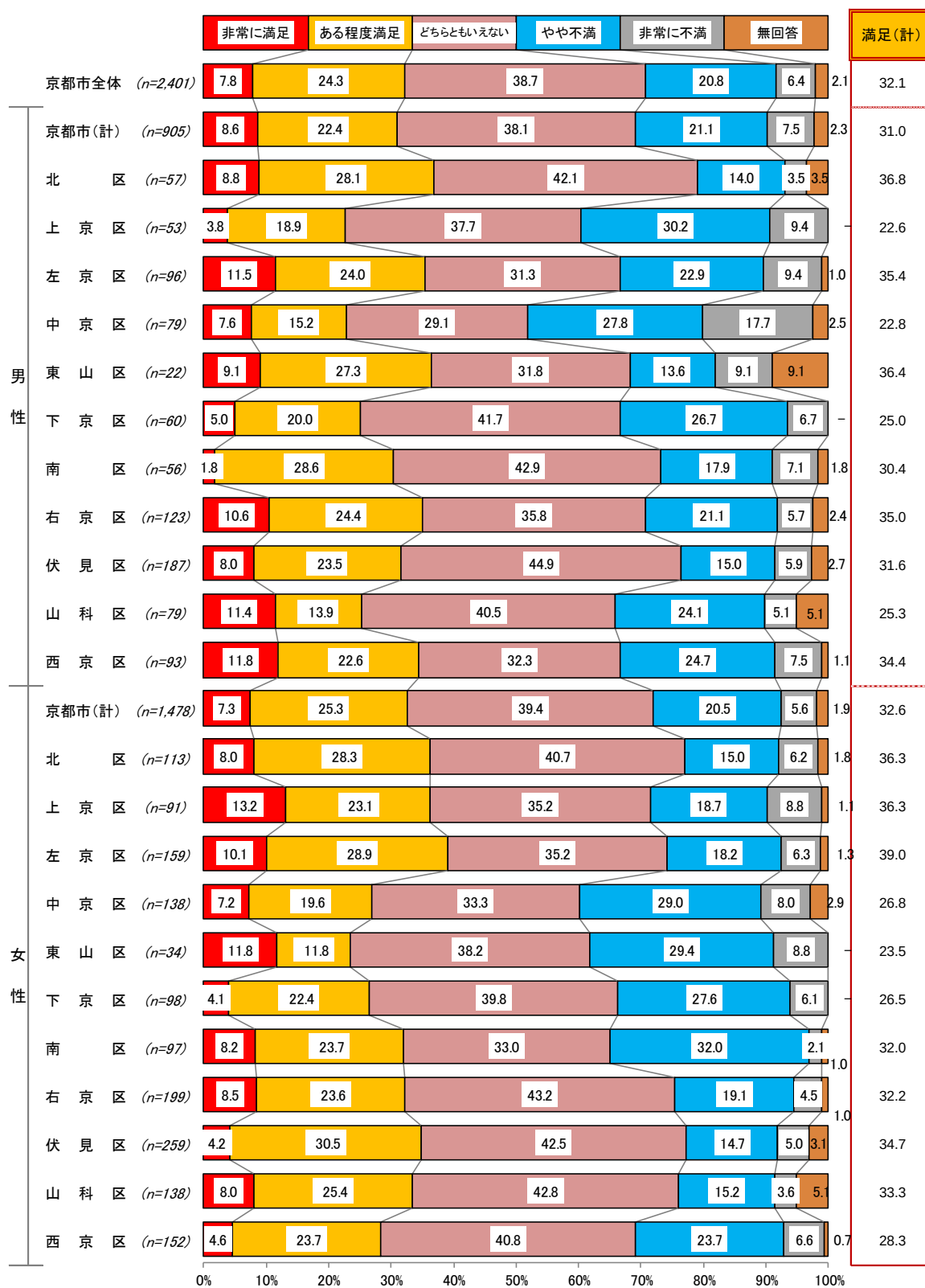
図表 IV-2-3-4-2 現居住地の満足度：住居の広さ（地域別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○京都市内の区別に住居費の満足度をみると（図表 IV2-3-4-3）、『満足（計）』という回答は、左京区の女性にやや多くなっているが、4 割程度である。

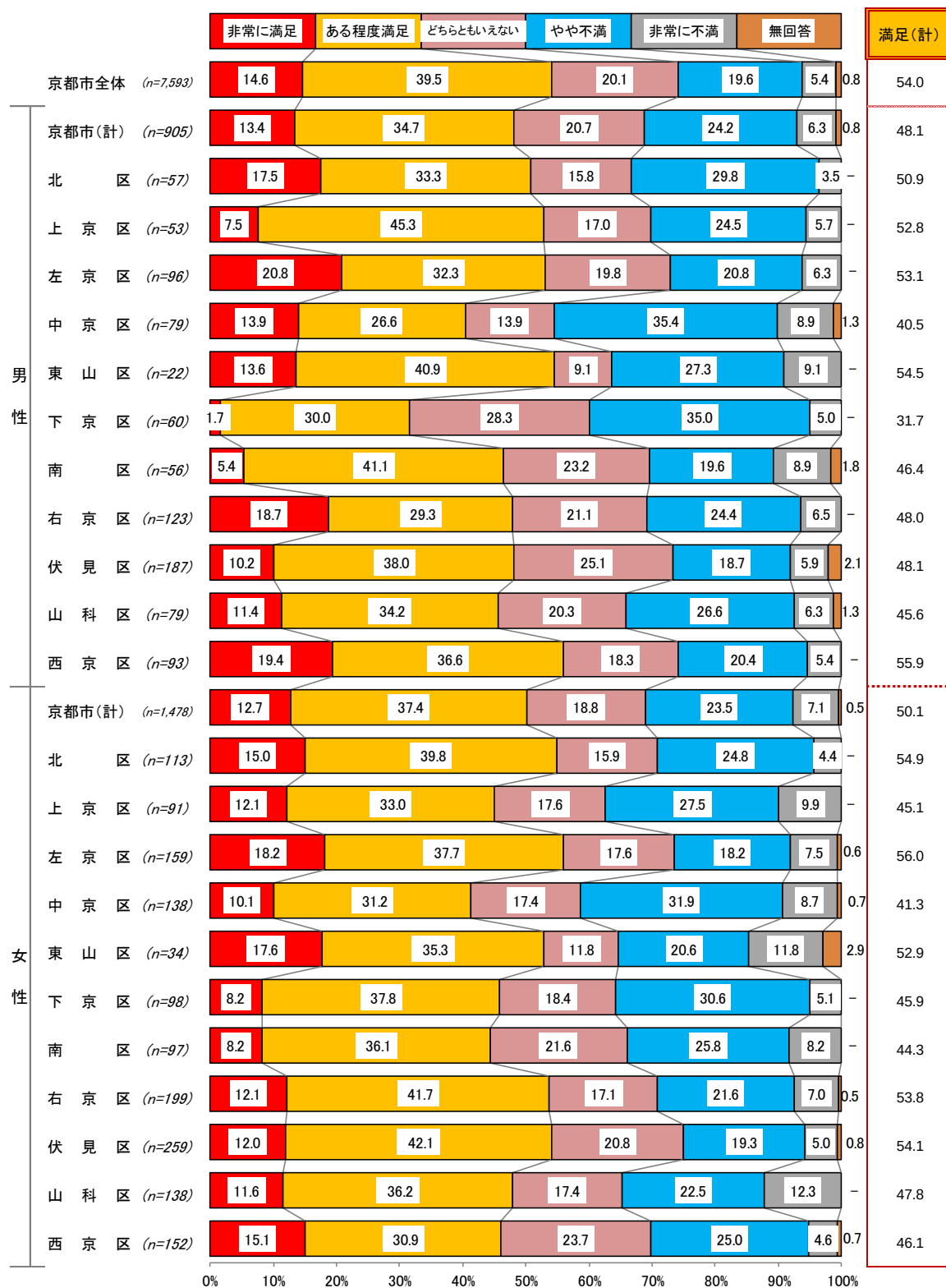
図表 IV-2-3-4-3 現居住地の満足度：家賃など住居費（京都市・区別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○京都市内の区別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-4）、『満足（計）』という回答は、下京区の男性で3割と最も低く、中京区の男女で4割とやや低い。

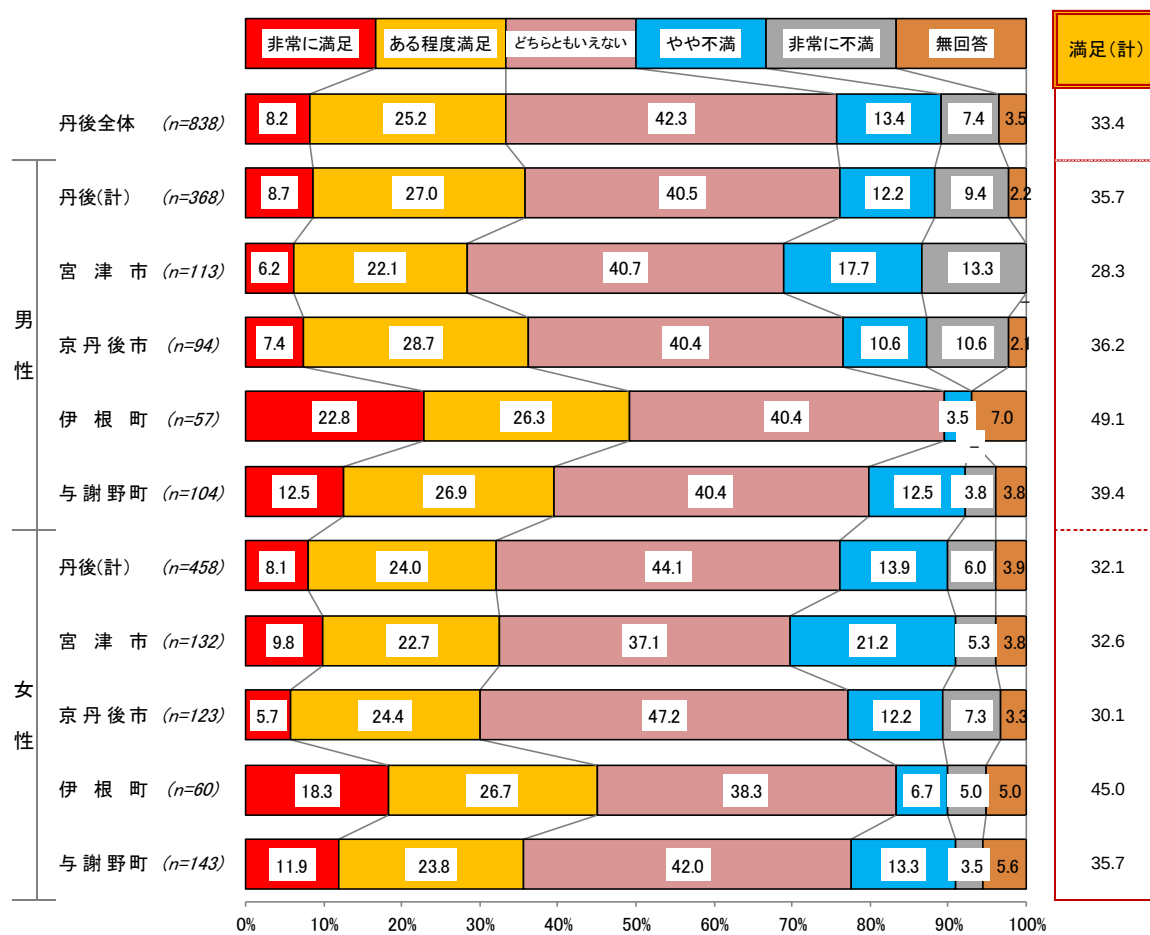
図表 IV-2-3-4-4 現居住地の満足度：住居の広さ（京都市・区別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○丹後の市町別に住居費の満足度をみると（図表 IV2-3-4-5）、『満足（計）』という回答は、男女とも伊根町で最も高い。

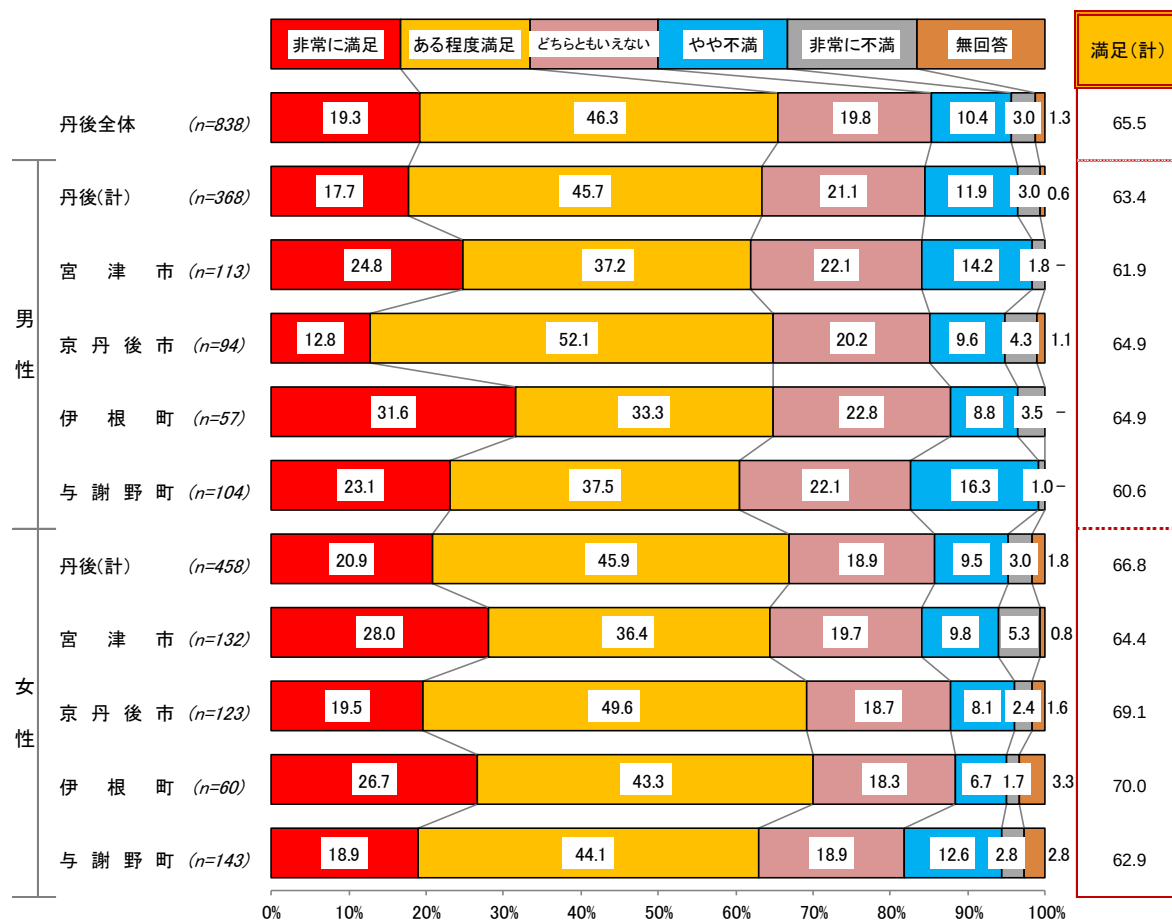
図表 IV-2-3-4-5 現居住地の満足度：家賃など住居費（丹後・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○丹後の市町別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-6）、『満足（計）』という回答は、いずれも6割以上と高い。

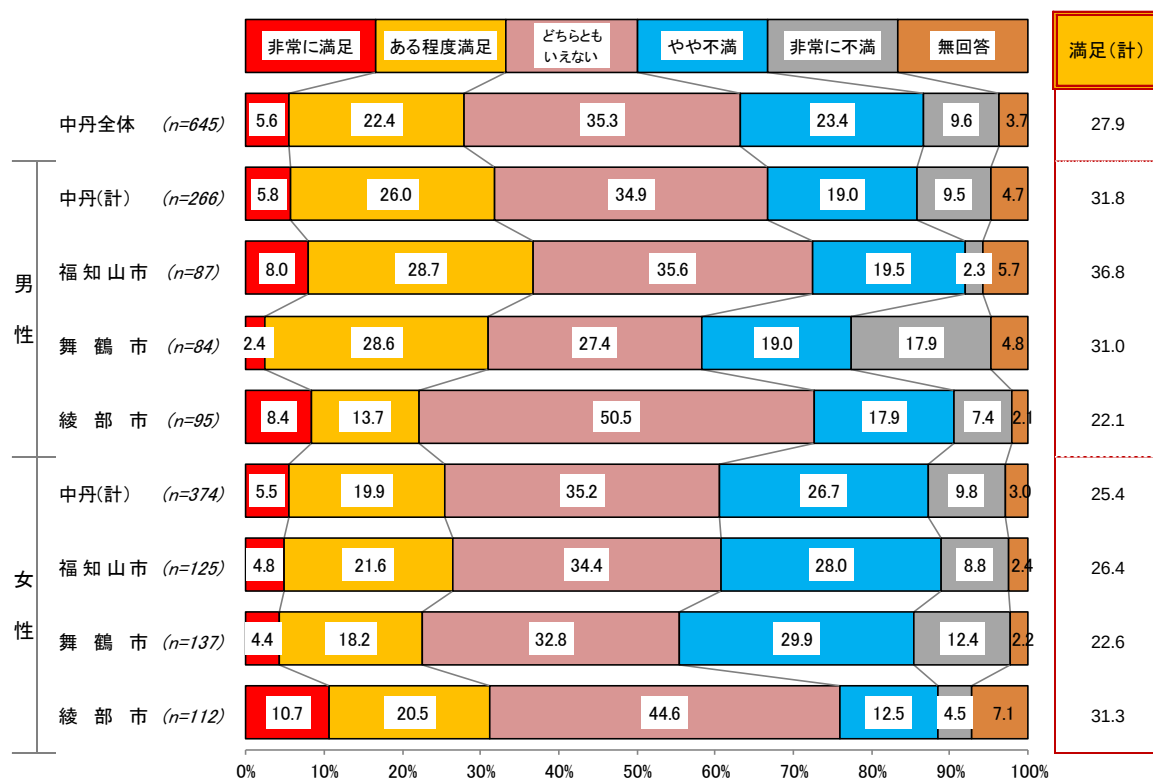
図表 IV-2-3-4-6 現居住地の満足度：住居の広さ（丹後・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○中丹の市別に住居費の満足度をみると（図表 IV-2-3-4-7）、『満足（計）』という回答は、福知山市の男性でやや高い。

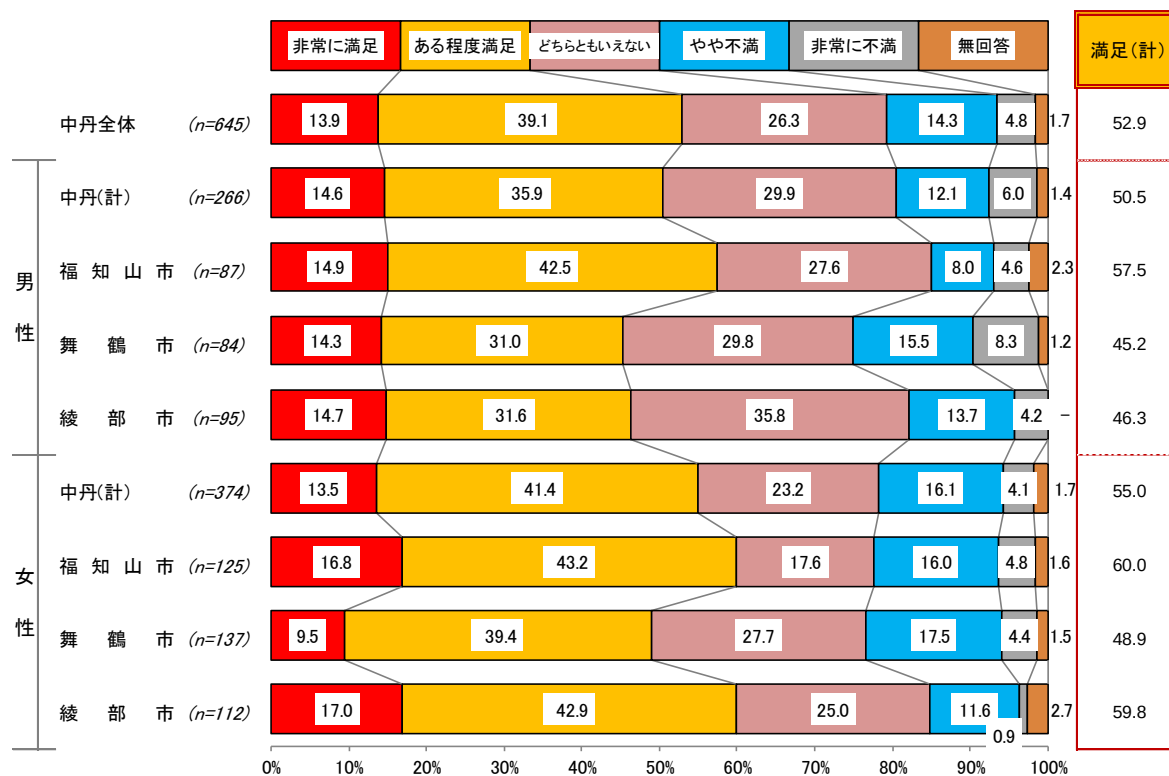
図表 IV-2-3-4-7 現居住地の満足度：家賃など住居費（中丹・市別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】

○中丹の市別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-8）、『満足（計）』という回答は、男女とも福知山市と、綾部市の女性でやや高い。

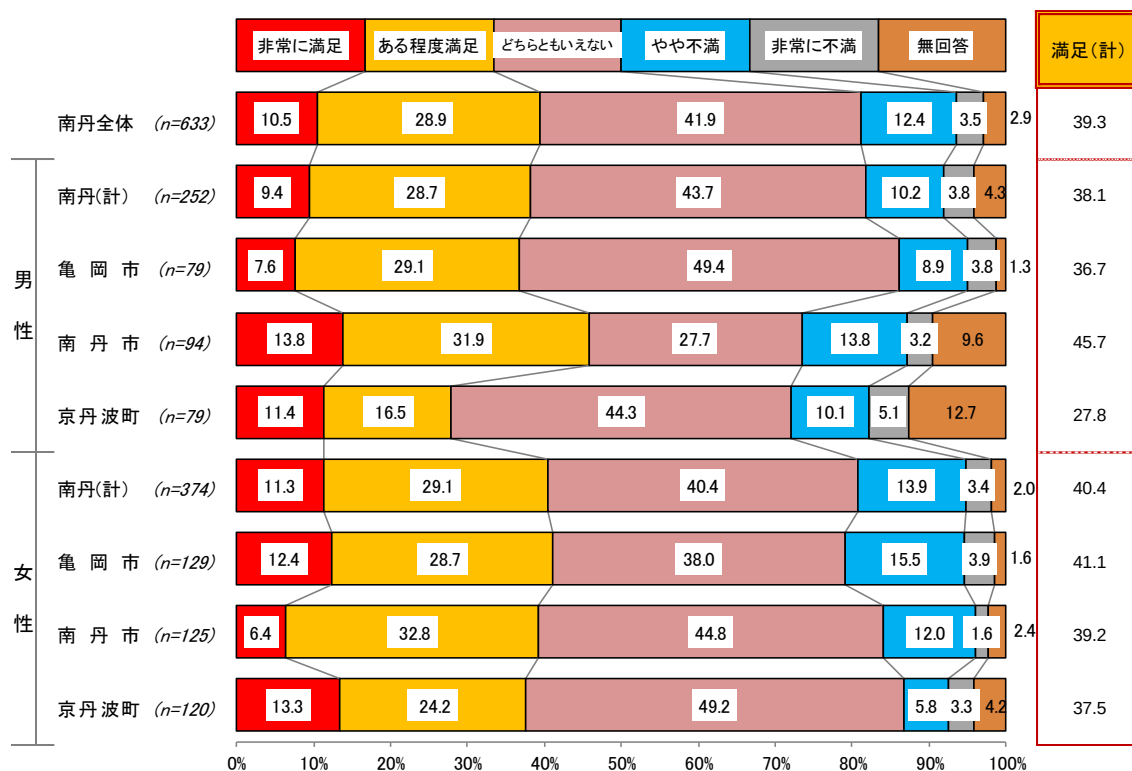
図表 IV-2-3-4-8 現居住地の満足度：住居の広さ（中丹・市別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市）（2014 年）】

○南丹の市町別に住居費の満足度をみると（図表 IV-2-3-4-9）、『満足（計）』という回答は、南丹市の男性でやや高い。

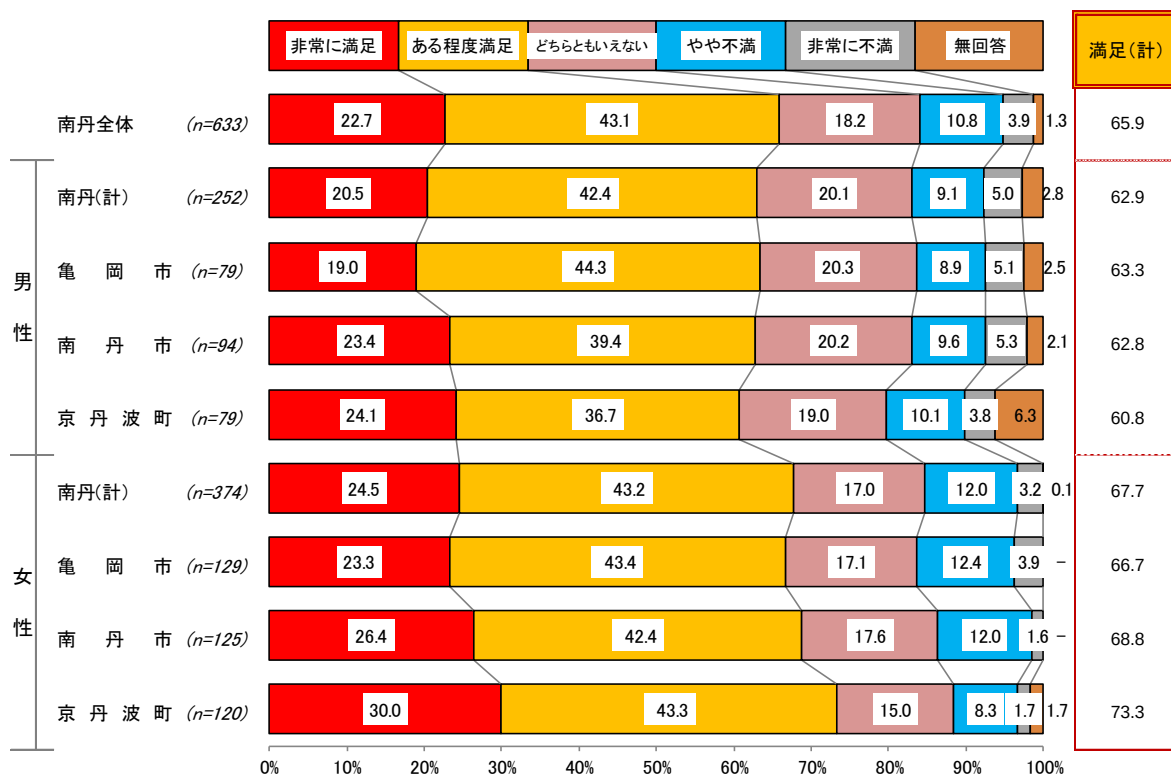
図表 IV-2-3-4-9 現居住地の満足度：家賃など住居費（南丹・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○南丹の市町別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-10）、『満足（計）』という回答は、いずれの市町でも 6 割を超え、高い。

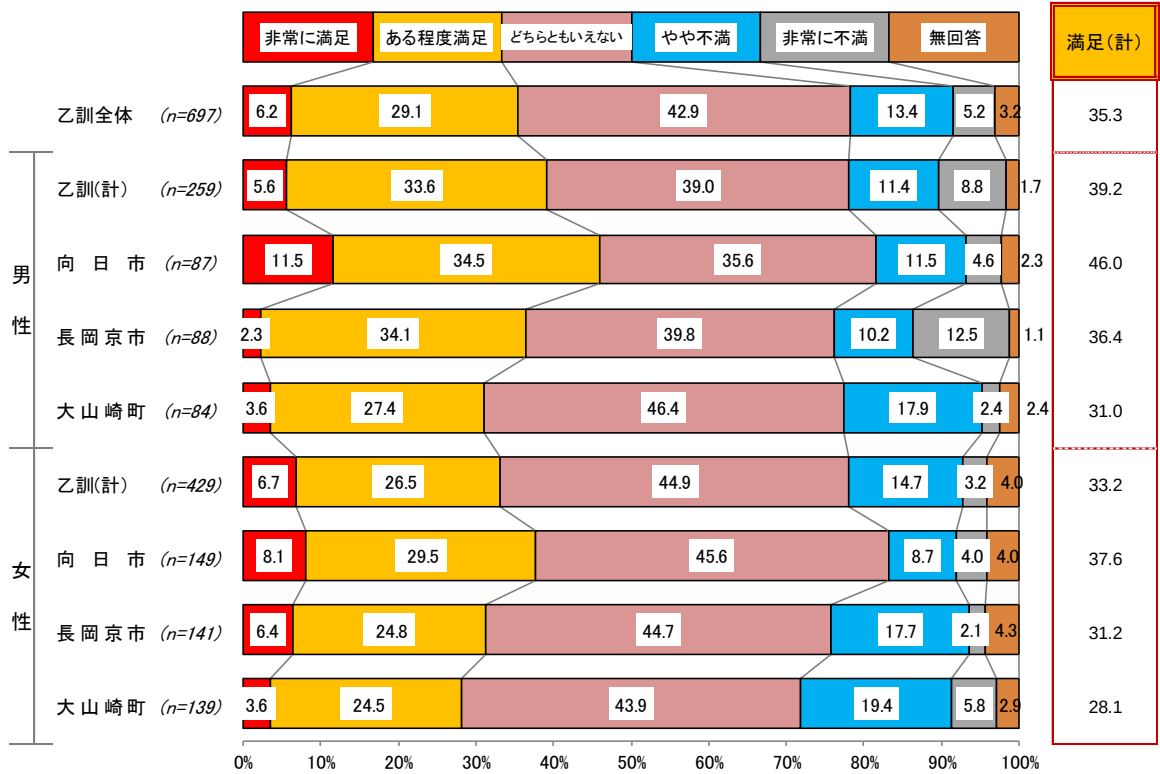
図表 IV-2-3-4-10 現居住地の満足度：住居の広さ（南丹・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○乙訓の市町別に住居費の満足度をみると（図表 IV2-3-4-11）、『満足（計）』という回答は、向日市の男性で高い。

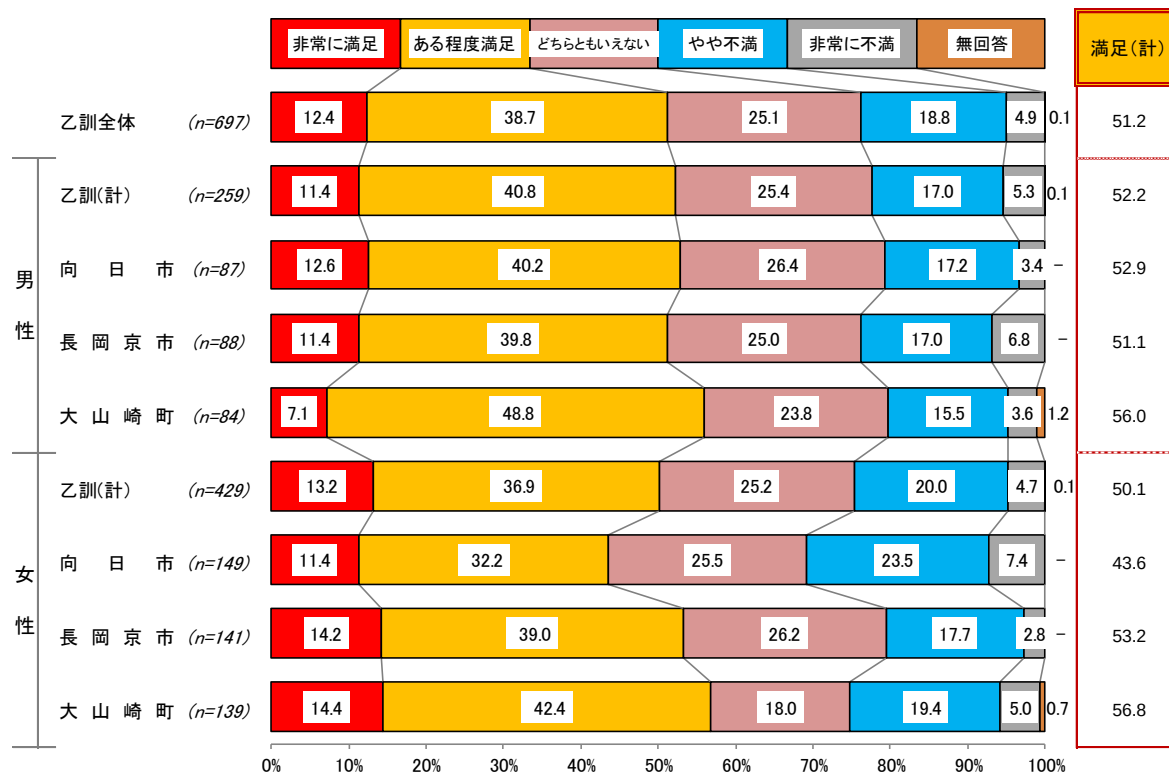
図表 IV-2-3-4-11 現居住地の満足度：家賃など住居費（乙訓・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意識調査」（京都府）（2014 年）】

○乙訓の市町別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-12）、『満足（計）』という回答は、向日市の女性でやや低いものの、大きな差はみられない。

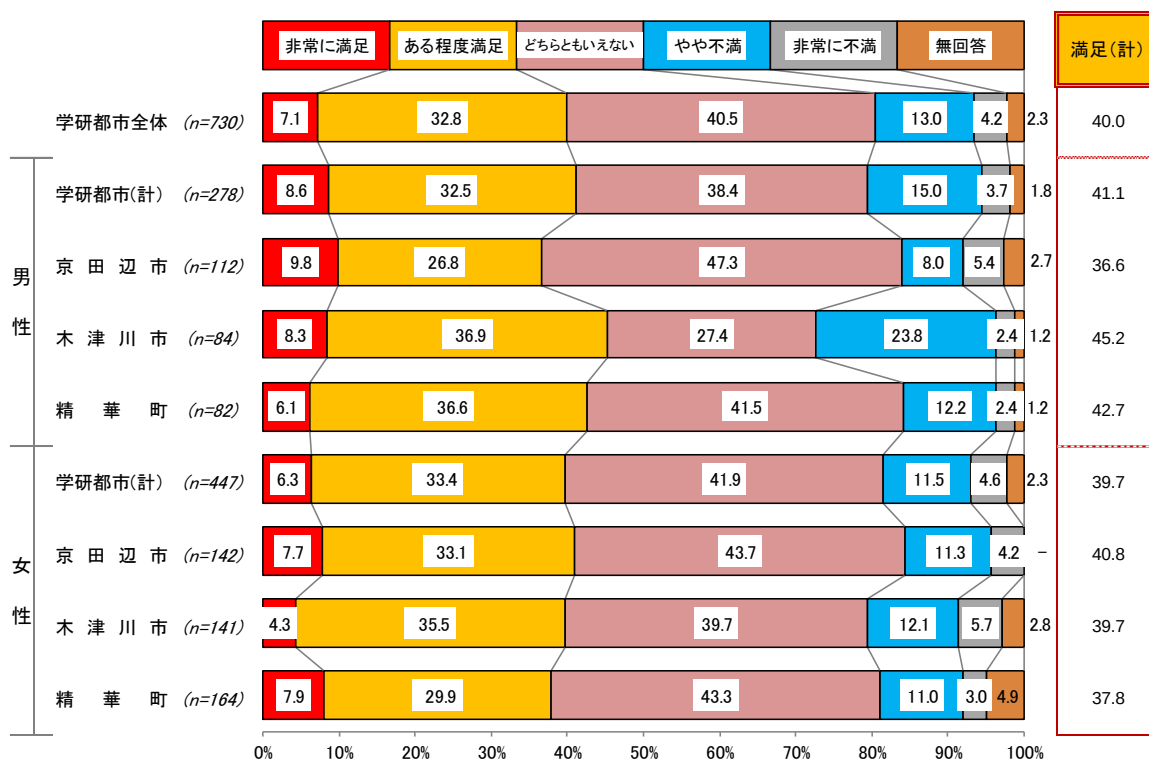
図表 IV-2-3-4-12 現居住地の満足度：住居の広さ（乙訓・市町別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市）（2014 年）】

○学研都市の市町別に住居費の満足度をみると（図表 IV-2-3-4-13）、『満足（計）』という回答に大きな差はみられない。

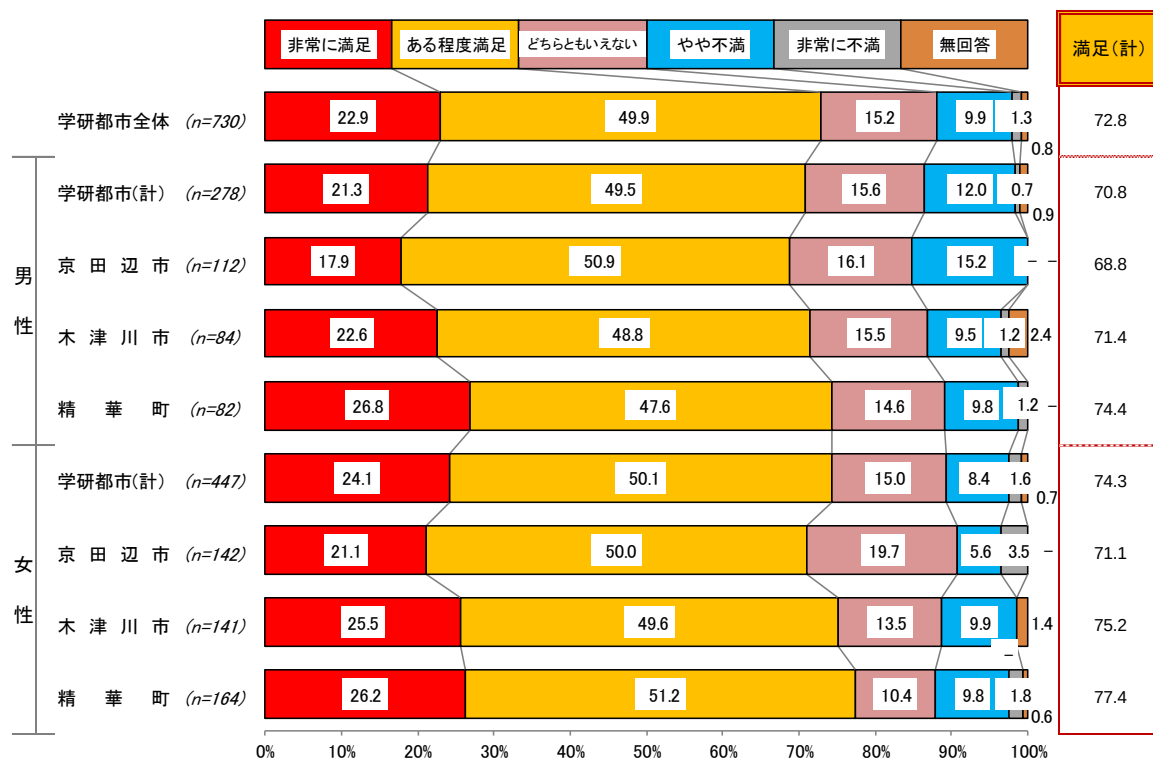
図表 IV-2-3-4-13 現居住地の満足度：家賃など住居費（学研都市・市町別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意調査」（京都市）（2014 年）】

○学研都市の市町別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV2-3-4-14）、いずれの市町でも『満足（計）』という回答は、6 割台後半から 7 割台半ばと高い。

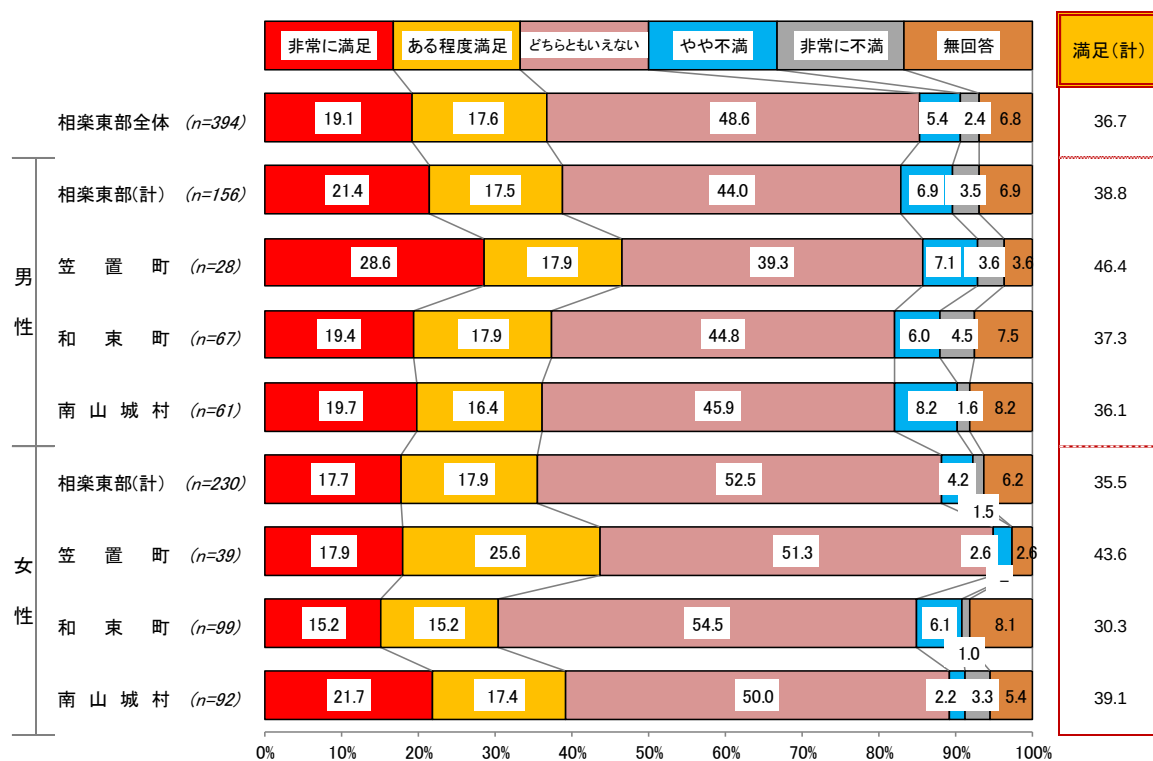
図表 IV-2-3-4-14 現居住地の満足度：住居の広さ（学研都市・市町別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意識調査」（京都市）（2014 年）】

○相楽東部の町村別に住居費の満足度をみると（図表 IV2-3-4-15）、『満足（計）』という回答に大きな差はみられない。

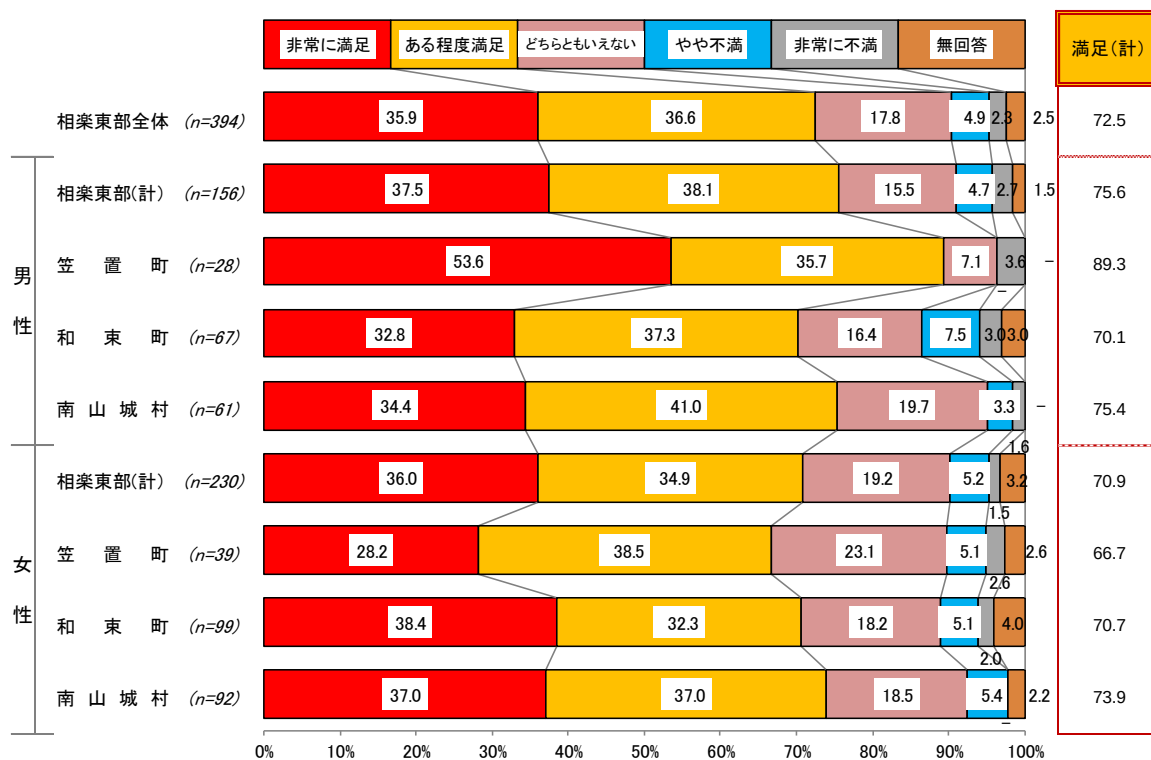
図表 IV-2-3-4-15 現居住地の満足度：家賃など住居費（相楽東部・町村別）



【20～44 歳、「京都市少子化要因実態調査・京都市民意識調査」（京都市）（2014 年）】

○相楽東部の町村別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV2-3-4-16）、『満足（計）』という回答は、いずれの町村でも 6 割台後半以上と高くなっている。

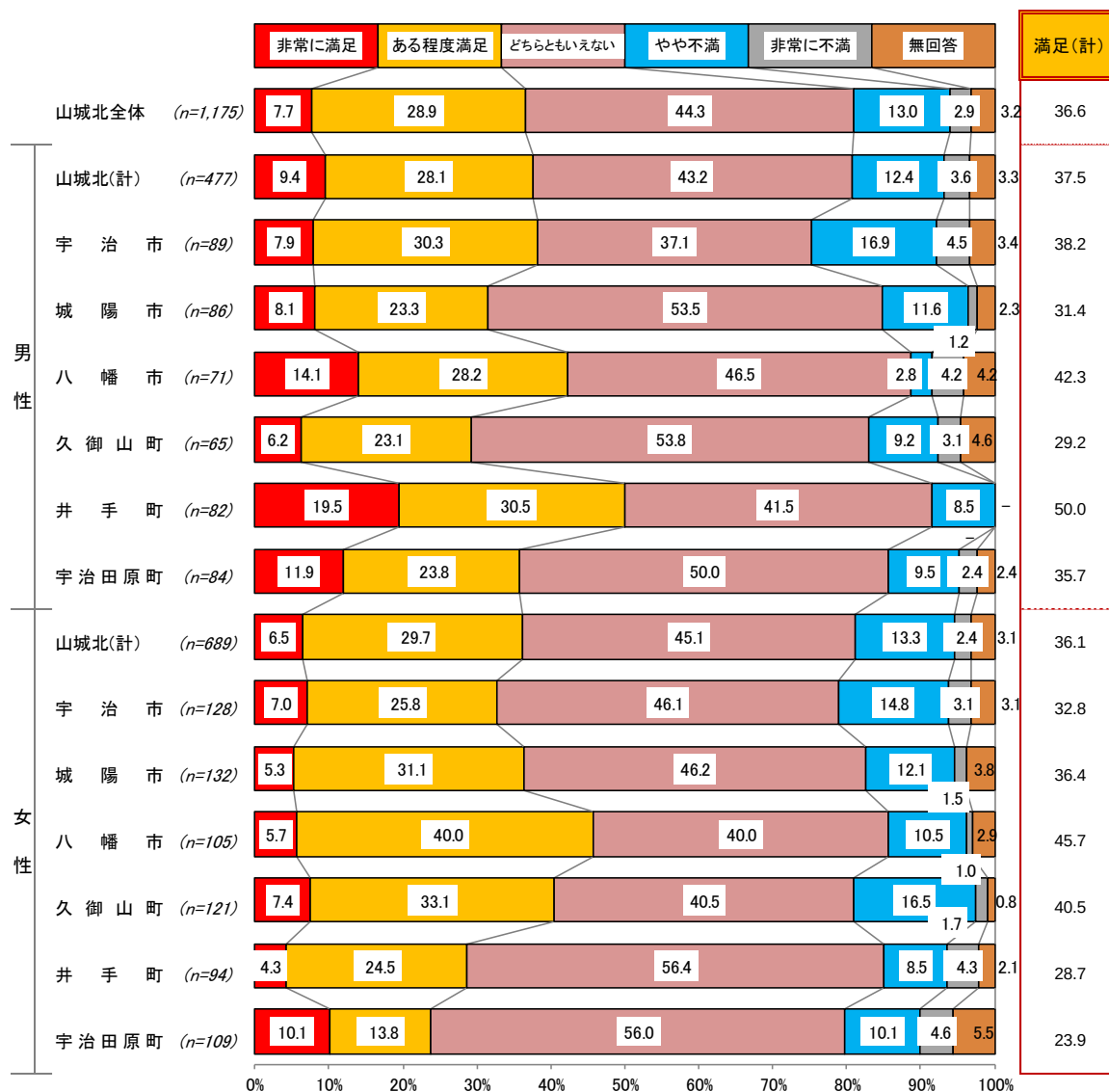
図表 IV-2-3-4-16 現居住地の満足度：住居の広さ（相楽東部・町村別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意識調査」（京都市）（2014 年）】

○山城北の市町別に住居費の満足度をみると（図表 IV-2-3-4-17）、『満足（計）』という回答は、井手町の男性で 5 割と高い。一方で、井手町の女性は 3 割弱であり、男女の差が大きい。

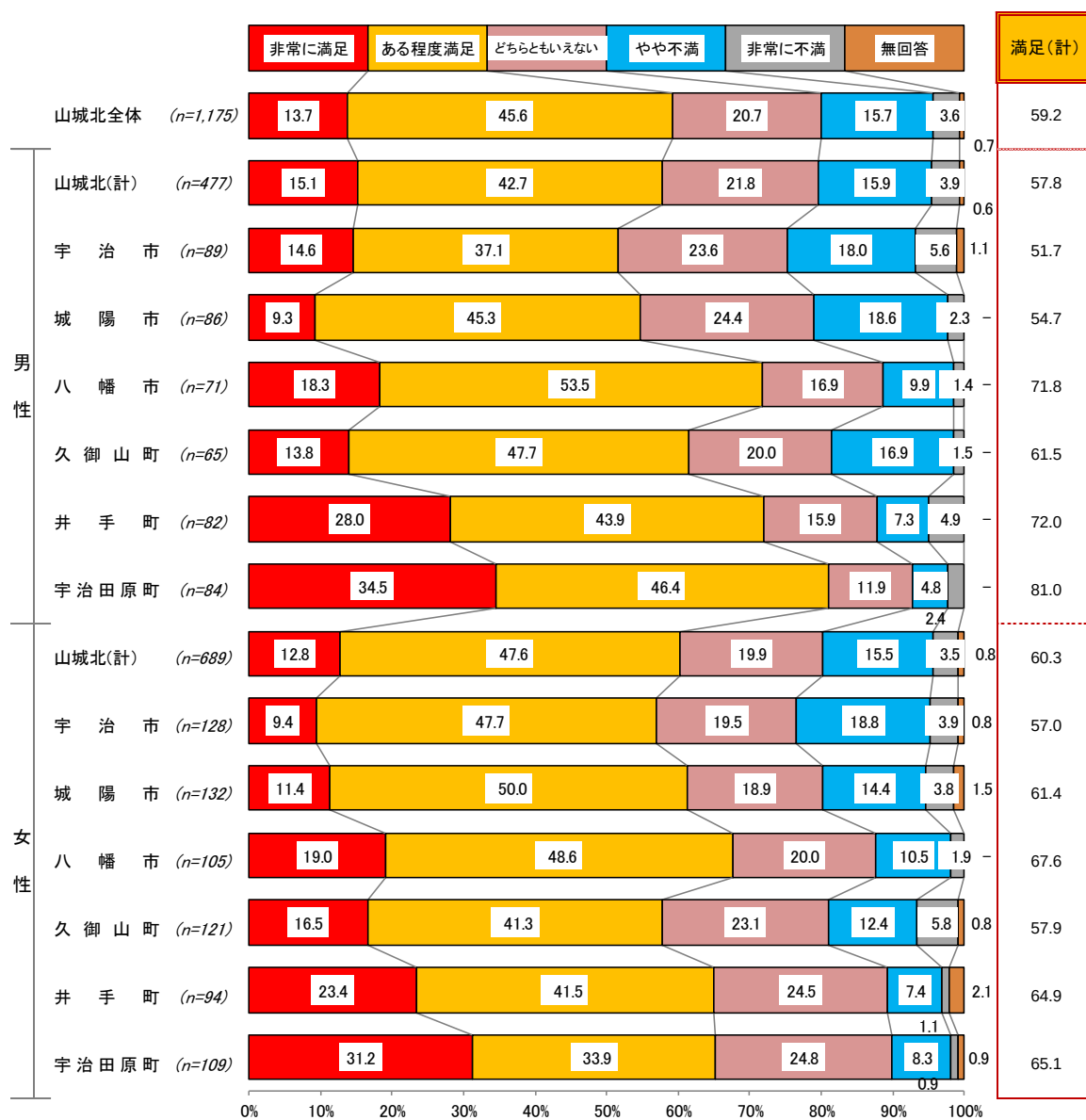
図表 IV-2-3-4-17 現居住地の満足度：家賃など住居費（山城北・市町別）



【20～44 歳、「京都市府少子化要因実態調査・京都市府民意識調査」（京都市府）（2014 年）】

○山城北の市町別に住居の広さの満足度をみると（図表 IV-2-3-4-18）、『満足（計）』という回答はいずれの市町でも 5 割を超えているが、特に八幡市、井手町、宇治田原町の男性で 7 割を超え、特に高い。

図表 IV-3-4-18 現居住地の満足度：住居の広さ（山城北・市町別）



【20～44 歳、「京都府少子化要因実態調査・京都府民意調査」（京都府）（2014 年）】